

道東自動車道 トマム I C 工事

設 計 図  
(のり面工)

令和 6 年 8 月

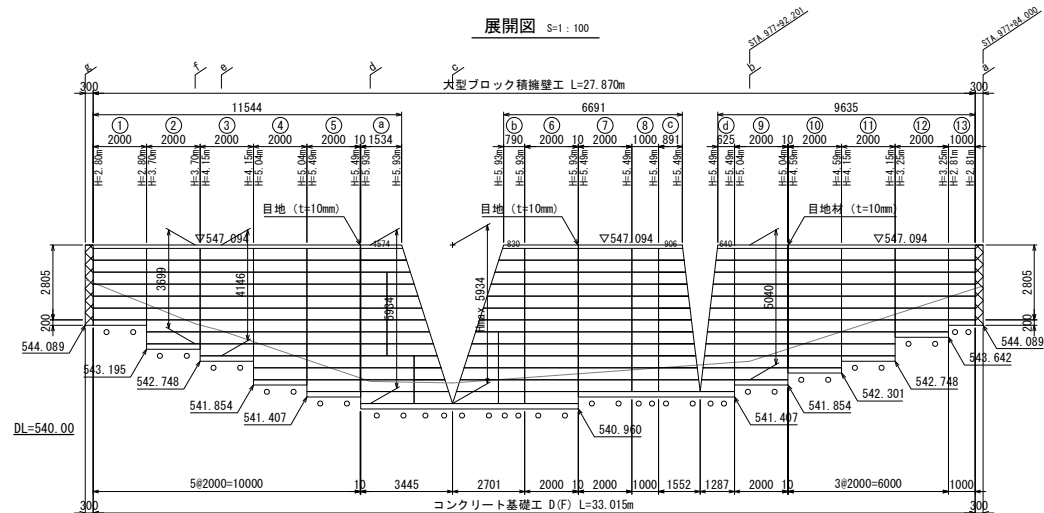
東日本高速道路株式会社  
北海道支社 帯広工事事務所

＜図面目録＞  
（のり面工）

[illegible]

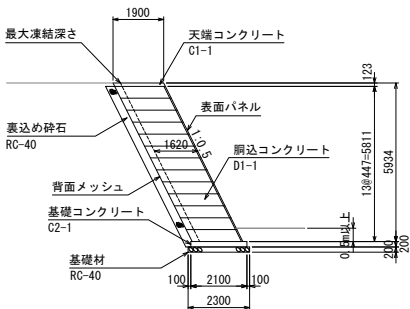
# コンクリートブロック積工一般図(1)

## 大型ブロック積擁壁工

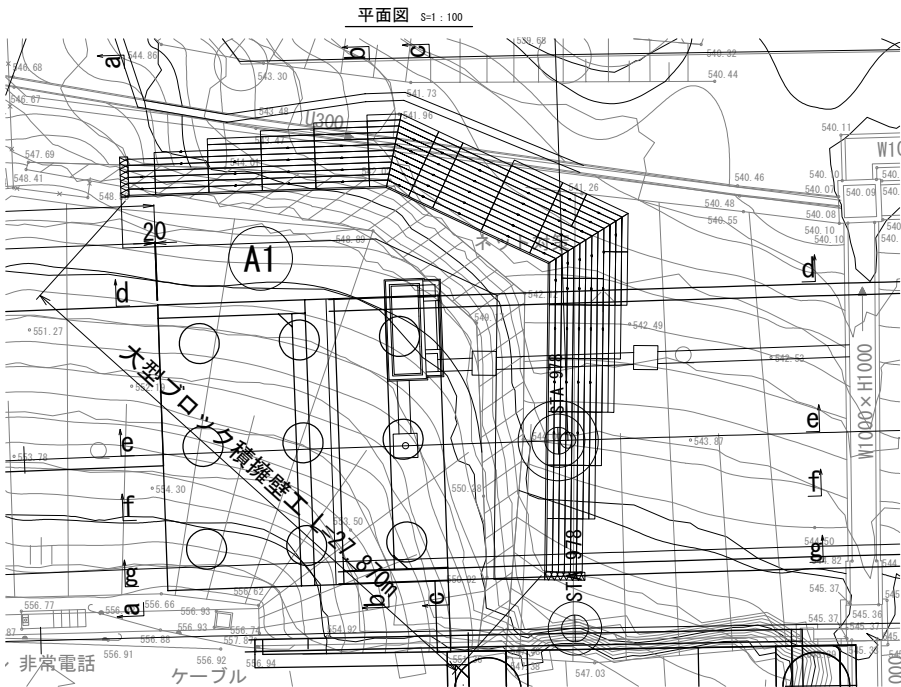


○ 平鋼 1000の取付け位置を示す

標準断面図 S=1:100



擁壁設計条件	
擁壁高	H= 5.934 m (全高H+ 6.124 m)
裏込め土	$\phi = 30.0$ $\gamma = 19.0$ (kN/m <sup>3</sup> ) C= 0.0 (kN/m <sup>2</sup> )
支持地盤	$\mu = 0.6$ $\phi = 0.0$ (kN/m <sup>2</sup> )
土圧	通行くき道による土圧
地表面載荷重	$q = 3.5$ (kN/m <sup>2</sup> )
積雪荷重	常時: $q = 10.50$ (kN/m <sup>2</sup> ) 地震時: $q = 5.25$ (kN/m <sup>2</sup> )
地震時設計水平震度	$kh = 0.14$
水位	常時
安定条件	常時
滑動安全率	1.50
合力の作用位置	$d > B/2$
必要支持力 (必要支持力)	180 (kN/m <sup>2</sup> ) 以上
コンクリート	裏込め
設計基準強度	25
鉄筋	S45



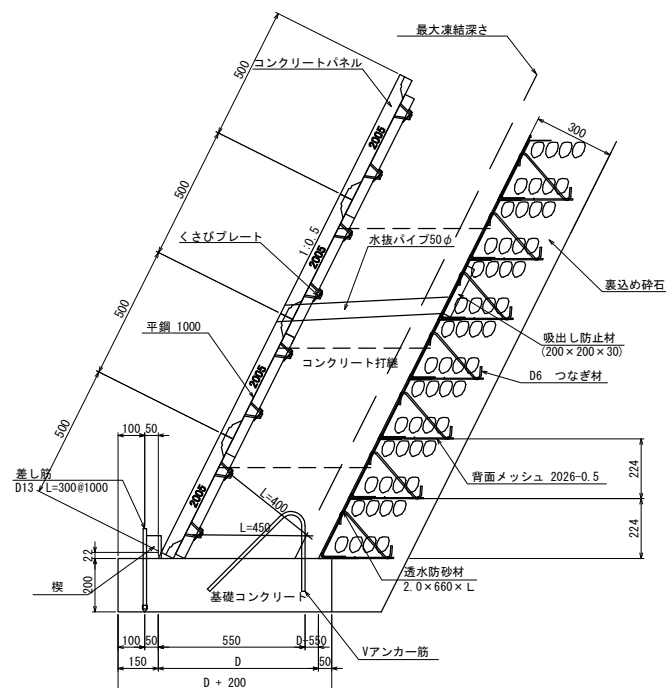
### 数量表

項目	種別	細目	単位	数量	摘要
コンクリートブロック積工	大型コンクリートブロック積工 (側面)	面積	m <sup>2</sup>	162.0	
		表面パネル面積	m <sup>2</sup>	158.0	調整部 30.5 m <sup>2</sup>
		裏面パネル (H=0.5)	枚	112	
		2005mm	枚	0	
		1505mm	枚	31	
		1005mm	枚	50	加工パネル
		裏面パネル (H=0.5)	枚	386	背面メッシュ2026
		背面パネル (H=0.5)	本	1930	つなぎ材 D6 (本)
			m	850	透水防砂材 0.002x0.600 (m)
		コンクリートD1-1	m <sup>3</sup>	260.5	側面コンクリート
		型わくD	m <sup>2</sup>	11.9	側面コンクリート
		水抜きパイプ	VP50	m	176.4
		吸出し防止材	200x200	枚	84
		コンクリートD1-1	m <sup>3</sup>	1.3	透水コンクリート
		裏込め砕石	RC-40	m <sup>3</sup>	47.4
		平鋼 1000	本	352	表面パネル固定用
		くさびプレート2.3x18/50x70	個	772	
		鉄筋 A	D13	本	76
			kg	32.1	最下段パネル連結鉄筋
		鉄筋 A	D13	本	38
基礎工	コンクリート基礎工D(F)	延長	m	33.02	
		コンクリートC2-1	m <sup>3</sup>	13.9	
		型わくD	m <sup>2</sup>	13.2	
		目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.7
		基礎材RC-40	m <sup>3</sup>	15.2	

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(1) 大型ブロック積擁壁工一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 53
設計会社名	株式会社 日本橋道橋設計研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

コンクリートブロック積工一般図(2) (十三線の沢川橋(下り線) A1橋台)  
大型ブロック積工構造図

断面詳細図 S = 1 : 10



※ 基礎材は標準断面図を参照

部材数量表 (表面コンクリートパネル 1枚当り)

表面パネル	平鋼 1000 (kg)	くさびプレート 2.3 × 18/50 × 70 (個)	背面メッシュ 2026 (組)	展開図表記
2005	2本 × 2.68 = 5.36	1個 × 4 = 4	2	-
1005				1005

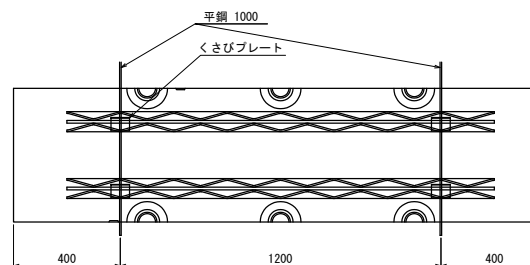
背面メッシュ数量表 (1組当り)

背面メッシュ	メッシュ(枚)	つなぎ材 (本)		透水防砂材(m)
	2050×530×4.0	D6-250		2.0×660
2026	1	5		2

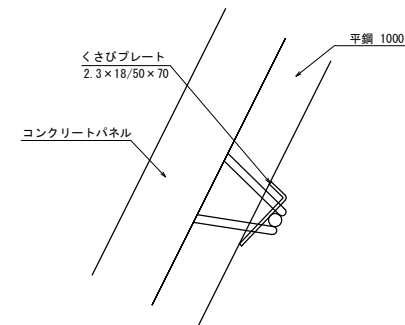
最下段パネル用・連結鉄筋・Vアンカー筋・差し筋 数量表  
(表面パネル 1枚当り)

表面パネル	連結鉄筋 D13 (kg)	Vアンカー筋 D13 (kg)	差し筋 D13 L=300 (kg)
2005	(0.40+0.45) × 0.995 × 2本	0.746 × 0.995 × 2本 = 1.48	0.300 × 0.995 × 2本 = 0.60
1005	= 1.69		

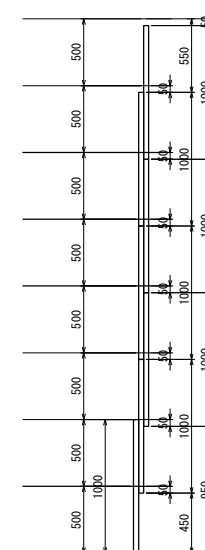
支持金物位置図 S = 1 : 10



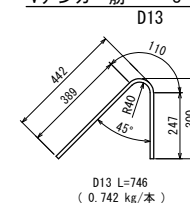
トラス筋部詳細図 S = 1 : 2



平鋼 1000 継手要領図  
S = 1 : 20

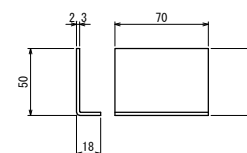


Vアンカー一筋      S = 1 : 10

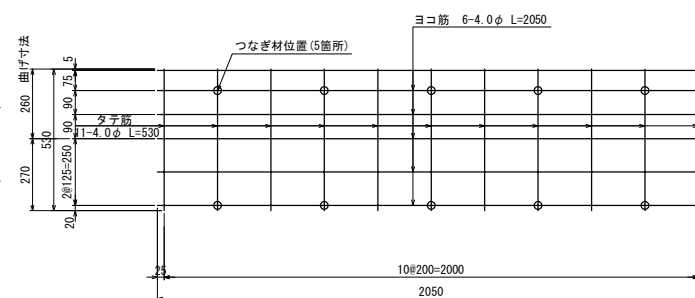


平鋼 1000 S = 1 : 10

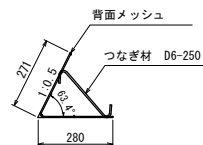
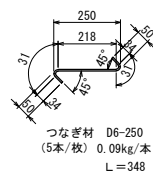
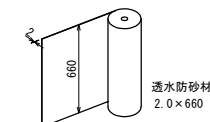
FB-9.0 \* 38 \* 999  
(2.68 kg)

くさびプレート  $S = 1 : 2$ 
$$2.3 \times 18 / 50 \times 70$$


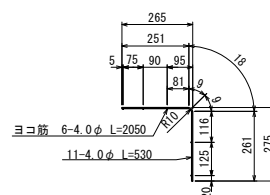
背面メッシュ  $S = 1 : 10$



透水防砂材 S = 1 : 20



背面メッシュは90°の製品を63.4°に曲げて使用する。



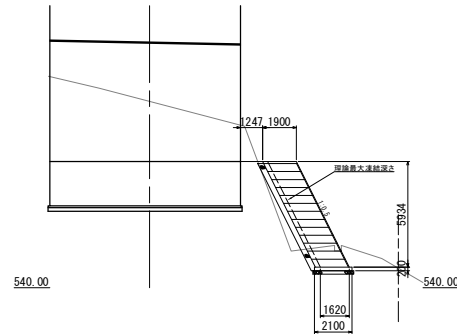
メッシュ 2050×530×4.0 1.79kg

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	コンクリートブロック積一般図(2) 大型ブロック積工構造造		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 50
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

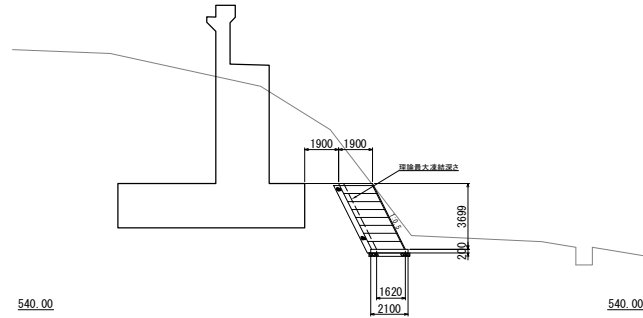


# コンクリートブロック積工一般図(3) S=1:150 (十三線の沢川橋(下り線) A1橋台) 大型ブロック積擁壁工断面図

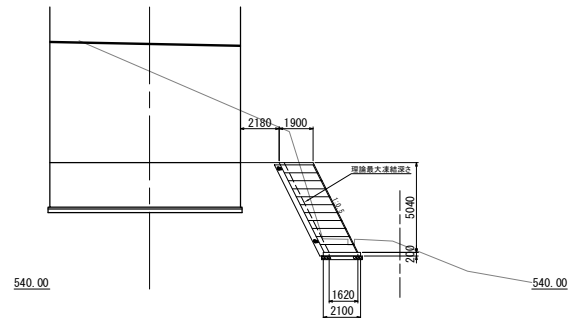
c-c断面



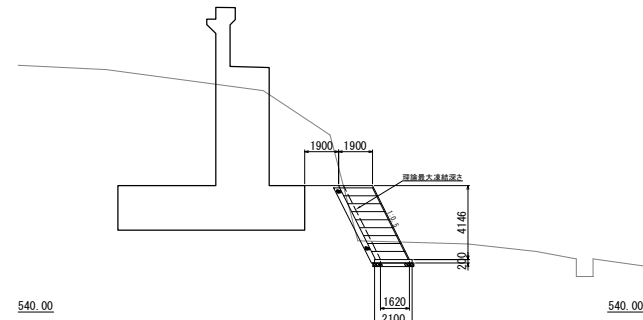
f-f断面



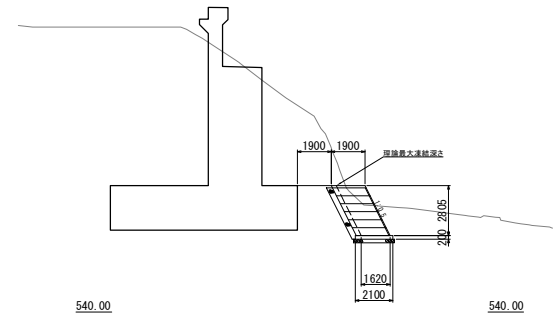
b-b断面



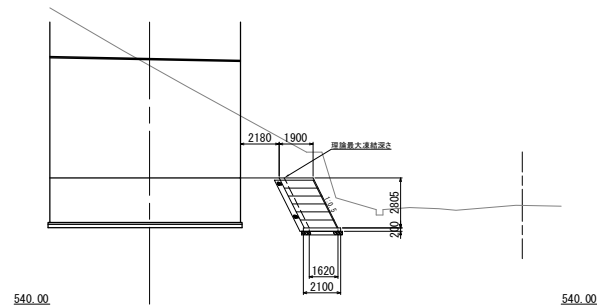
e-e断面



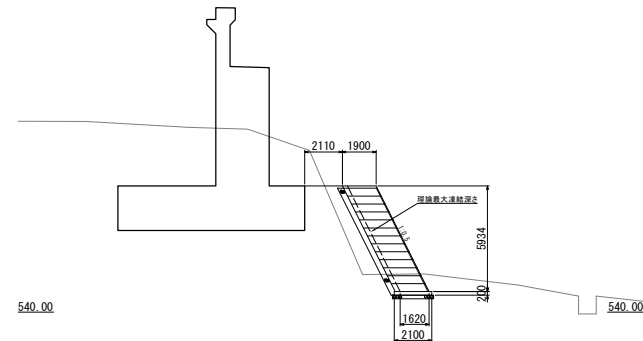
g-g断面



a-a断面



d-d断面



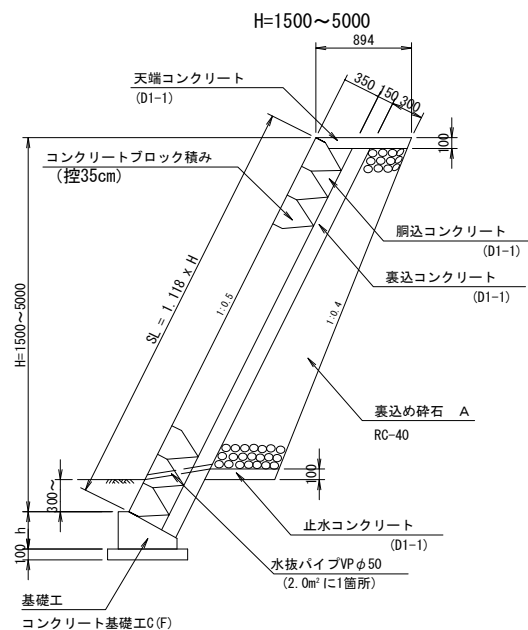
道 東 自 動 車 道 ト マ ム I C エ 事				
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(3) 大型ブロック積擁壁工断面図			
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 53	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

### コンクリートブロック積工一般図(4)

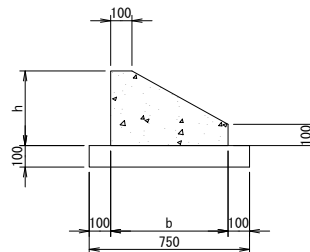
久我の沢川橋(下り線) A2橋台

### コンクリートブロック積工標準断面図

盛土部 1 : 0.5 S=1 : 100



基礎工詳細図 S=1 : 50  
コンクリート基礎工C(F)



### 基礎工寸法表

	b	h
コンクリート基礎工(F)	550	350

### 基礎工材料表

種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工		摘 要
			C1(F)		
構造物別	普通部	m <sup>2</sup>	8.57		
埋戻し		m <sup>2</sup>	3.39		
コンクリート	C2-1	m <sup>2</sup>	1.36		
型わく	D	m <sup>2</sup>	4.50		
基礎材	RC-4	m <sup>2</sup>	0.75		

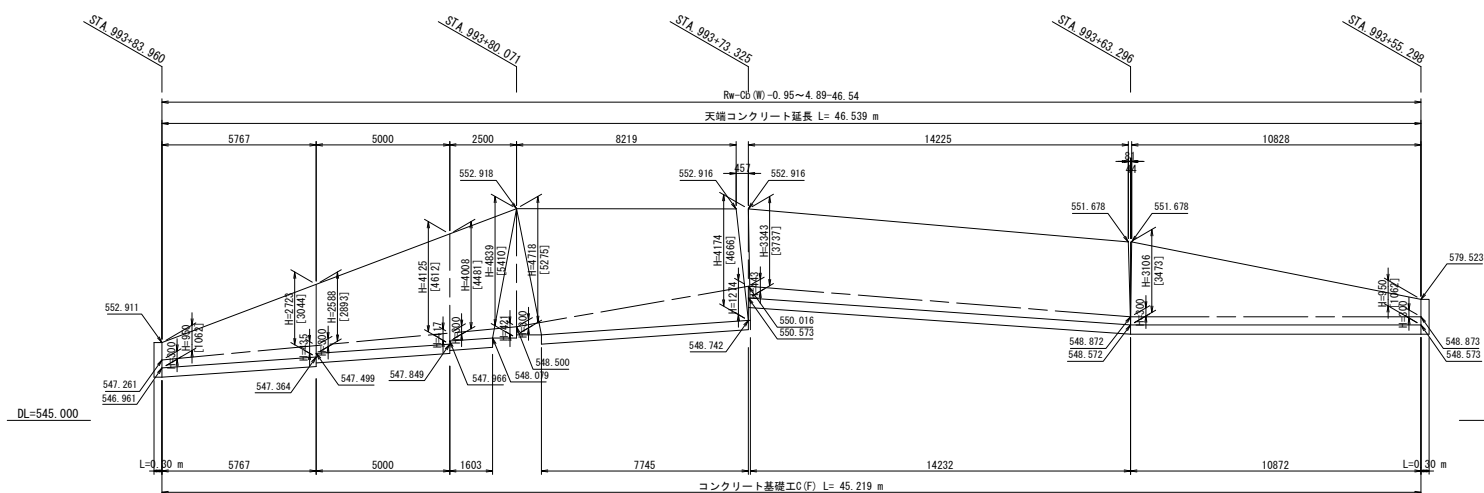
コンクリートブロック積工数量表

項 目	種 別	規格・寸法	数 量		合 計	備 考
			単位			
コンクリートポンプ工	コンクリートポンプ組み(練)径35cm A	ブッシュ面積	m <sup>2</sup>	156.3	156.3	
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	4.1	4.1	天端コンクリート
		型わく D	m <sup>2</sup>	5.2	5.2	天端コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>3</sup>	23.4	23.4	裏込めコンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>3</sup>	34.4	34.4	側込めコンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>3</sup>	2.7	2.7	止水コンクリート
		型わく D	m <sup>2</sup>	5.1	5.1	止水コンクリート
		目地材(φ10mm)	m <sup>2</sup>	13.5	13.5	
		水抜きパイプ	本	79	79	VPφ50
裏込め砕石	A	RC-40	m <sup>3</sup>	57.7	57.7	
基礎工	コンクリート基礎工 C (F)		m	45.2	45.2	

② STA. 993+55.298~STA. 993+83.960(L) 盛土1:0.5

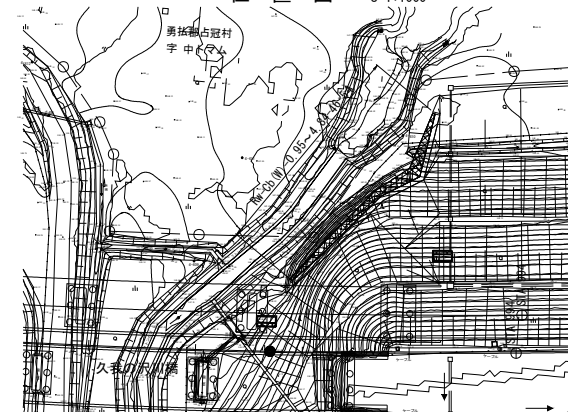
展開図

S=1 : 200

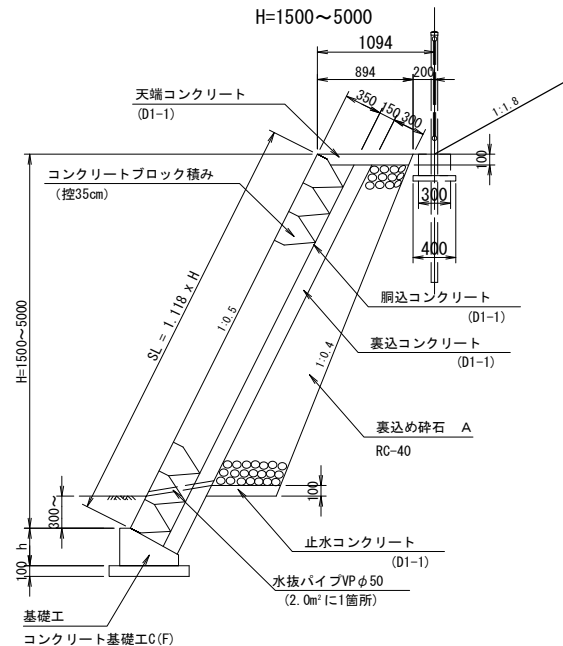


位置図

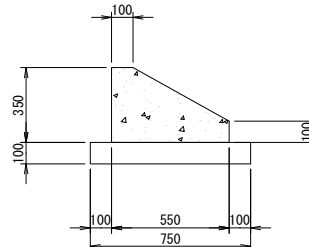
S=1:1000



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 5
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		

コンクリートブロック積工標準断面図  
盛土部 1:0.5 S=1:100

コンクリートブロック積工一般図(5)

基礎工詳細図 S=1:50  
コンクリート基礎工C(F)

基礎工材料表

種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工	摘 要
構造物面材	普通部	m²	7.64	
埋 戻 し		m²	3.14	
コンクリート	C2-1	m³	1.36	
型 わ く	D	m²	4.50	
基礎材	RC-40	m³	0.75	

10m当り

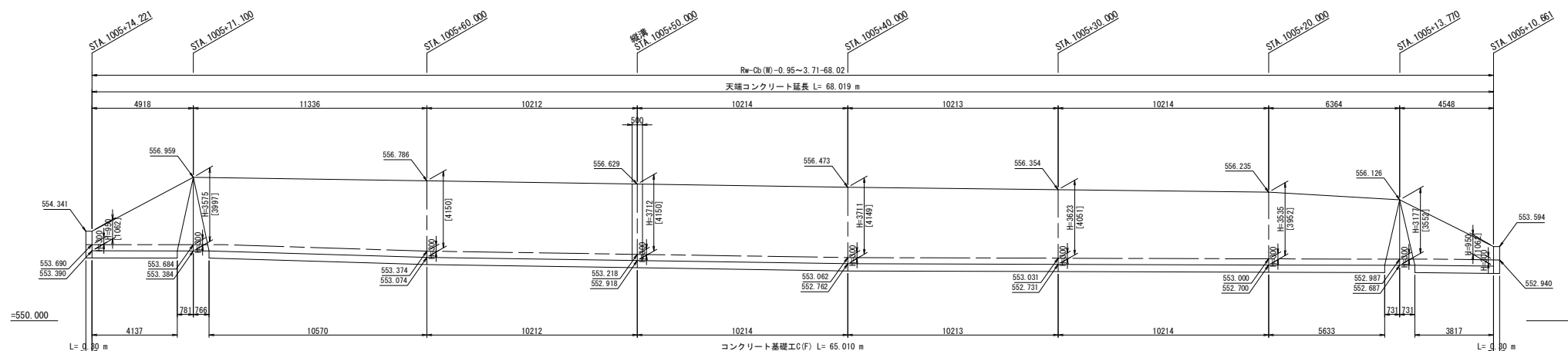
コンクリートブロック積工数量表

項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量	合 計	備 考
コンクリートブロック積工	コンクリートブロック積工 (横) 控35cm A	ブロック積面積	m²	253.7	253.7	
		コンクリート D1-1	m³	6.1	6.1	天端コンクリート
		型わく D	m²	7.6	7.6	天端コンクリート
		コンクリート D1-1	m³	38.1	38.1	胴込コンクリート
		コンクリート D1-1	m³	55.8	55.8	胴込コンクリート
		コンクリート D1-1	m³	4.2	4.2	止水コンクリート
		型わく D	m²	7.4	7.4	止水コンクリート
		目地材 t=10mm	m²	14.2	14.2	
		水抜きパイプ	本	127	127	VPφ50
		裏込め砕石 A	m³	102.9	102.9	
基礎工	コンクリート基礎工C(F)		m	65.0	65.0	

③ STA. 1005+10.661~STA. 1005+74.221 (L) 盛土1:0.5

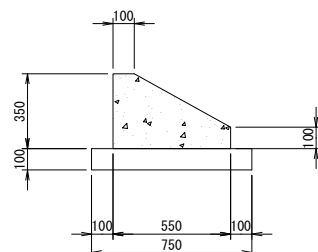
展開図

S=1:200



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	5 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

基礎工詳細図  
コンクリート基礎工C(F) S=1 : 50

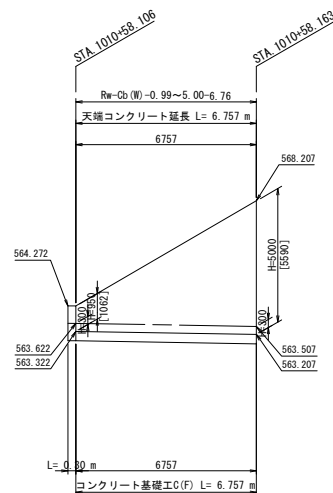


種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工		摘
			④ (F)	⑤ (F)	
構造物掘削	普 通 部	m <sup>2</sup>	6.87	6.87	
埋 戻 し		m <sup>2</sup>	2.38	2.38	
コンクリート	C2-1	m <sup>2</sup>	1.36	1.36	
型 わ く	D	m <sup>2</sup>	4.50	4.50	
基 礎 材	RC-4	m <sup>2</sup>	0.75	0.75	

項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量		合 計	備 考
				④	⑤		
コンクリート工	コンクリート工(縦) 縦35cm A	ブロック積置	m <sup>2</sup>	19.1	22.5	41.6	
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.5	0.6	1.1	天端コンクリート
		型わく D	m <sup>2</sup>	0.6	0.8	1.4	天端コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	2.9	3.4	6.3	裏込コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	4.2	5.0	9.2	胴込コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.3	0.4	0.7	止水コンクリート
		型わく D	m <sup>2</sup>	0.6	0.8	1.4	止水コンクリート
		目地材=10mm	m	—	—	—	
		水抜きパイプ	本	10	12	22	VPφ50
裏込め砕石	A	RC-40	m <sup>3</sup>	7.2	8.5	15.7	
基礎工	コンクリート基礎工 C (F)		m	6.8	6.8	12.6	

⑤ STA. 1010+58.106~STA. 1010+58.163(L) 盛土1:0.5

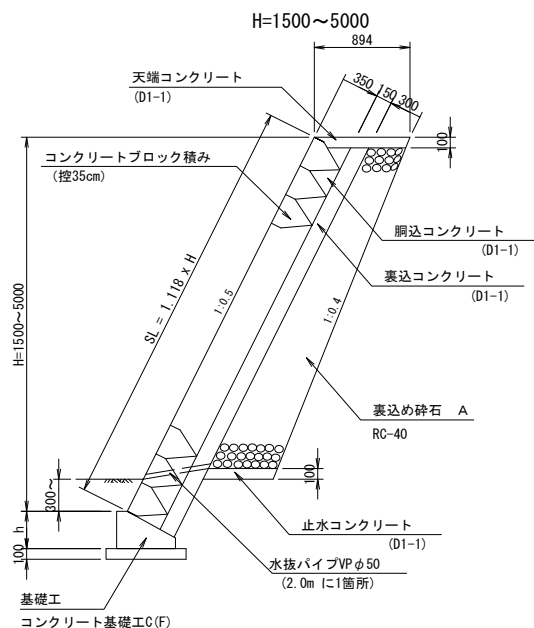
展開図



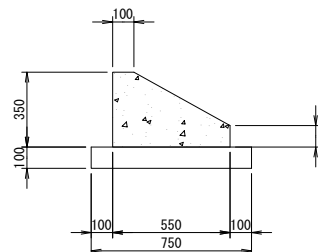
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(6)		
縮 尺	図示	図面番号	6 / 5
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		

### コンクリートブロック積工一般図(7)

コンクリートブロック積工標準断面図  
盛土部 1 : 0.5 S=1 : 100



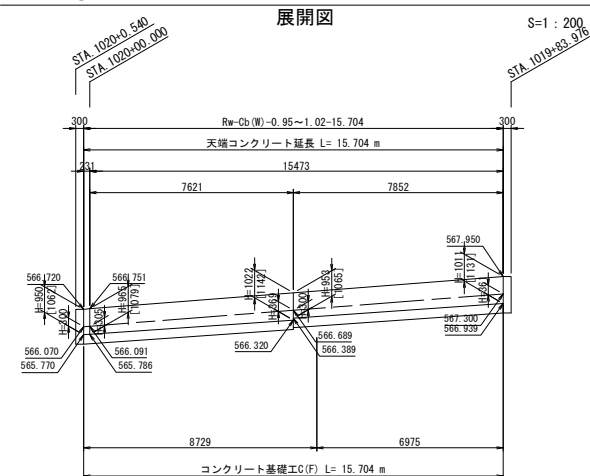
基礎工  
コンクリート基礎工C(F) S=1 : 50



### 基礎工材料表

種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工		摘 要
			C(Ⅰ) ⑥	C(Ⅰ) ⑦	
構造物側割	普 通 部	m <sup>2</sup>	7.91	7.62	
埋 戻 し		m <sup>2</sup>	3.21	3.13	
コンクリート	C2-1	m <sup>3</sup>	1.36	1.36	
型 わ く	D	m <sup>2</sup>	4.50	4.50	
基 礎 材	RC-40	m <sup>3</sup>	0.75	0.75	

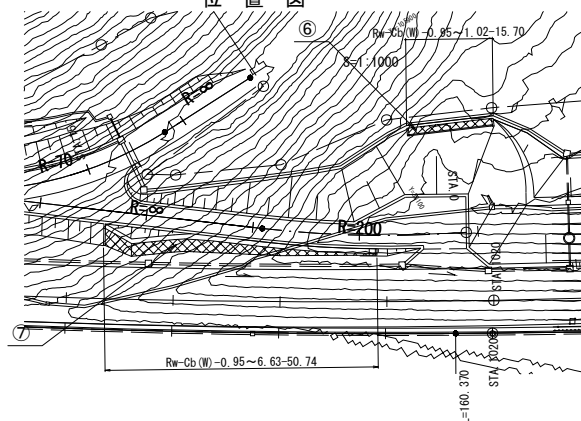
⑥ STA. 1019+83.976~STA. 1020+0.540(L) 盛土1:0.5



コンクリートブロック積工数量表

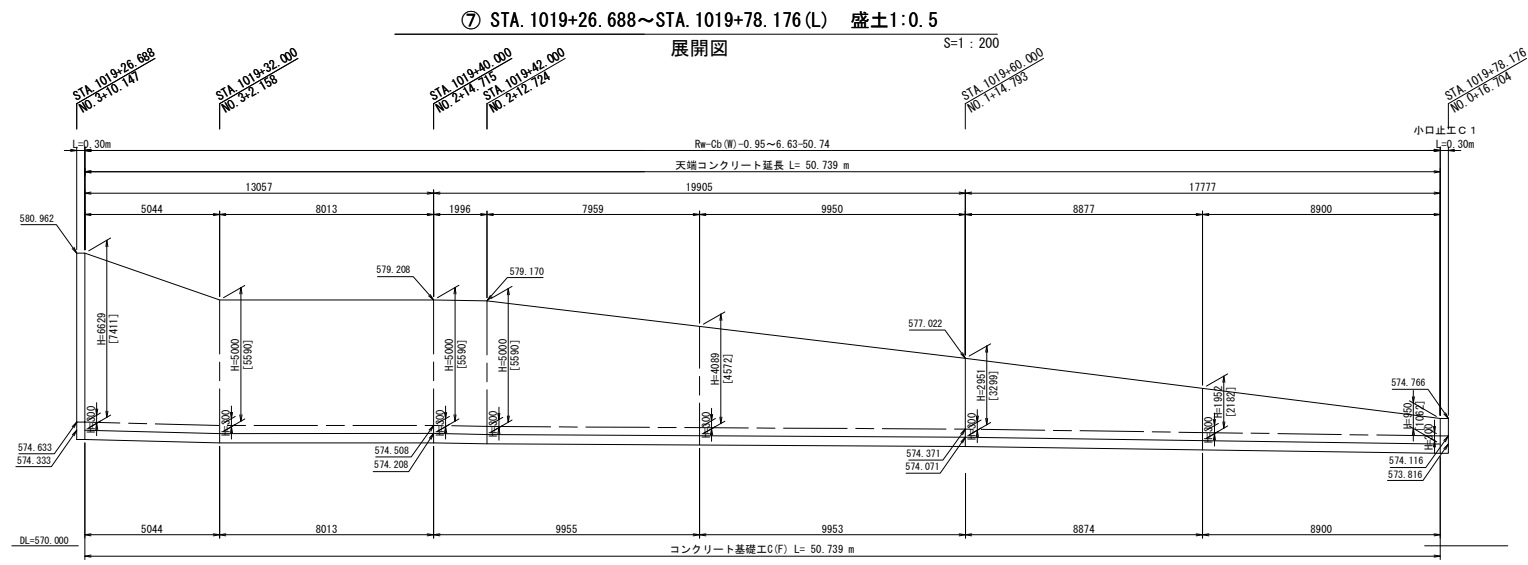
項目	種 別	規格・寸法	数 量		合 計	備 考	
			単位				
コンクリートブロック工	コンクリートブロック(縦)幅35cm A	アーク断面面積	m <sup>2</sup>	17.3	207.1	224.4	
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	1.4	4.5	5.9	天端コンクリート
		型枠 0	m <sup>2</sup>	1.8	5.7	7.5	天端コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	2.6	31.1	33.7	表込コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	3.8	45.6	49.4	胴込コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.6	3.4	4.0	止水コンクリート
		型枠 0	m <sup>2</sup>	1.8	5.7	7.5	止水コンクリート
		目地材t=10mm	m <sup>2</sup>	0.8	10.8	11.6	
		水抜きパイプ	本	9	104	113	VPφ50
表込の砕石	A	RC-40	m <sup>3</sup>	3.8	99.9	94.7	
基礎工	コンクリート基礎工 C (F)		m <sup>3</sup>	15.7	50.7	66.4	

### 位置図



道東自動車道 トマム！Ｃ工事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(7)		
縮 尺	図示	図面番号	7 / 50
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事所 第2所		

コンクリートブロック積工一般図(8)



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(8)		
縮 尺	図示	図面番号	8 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

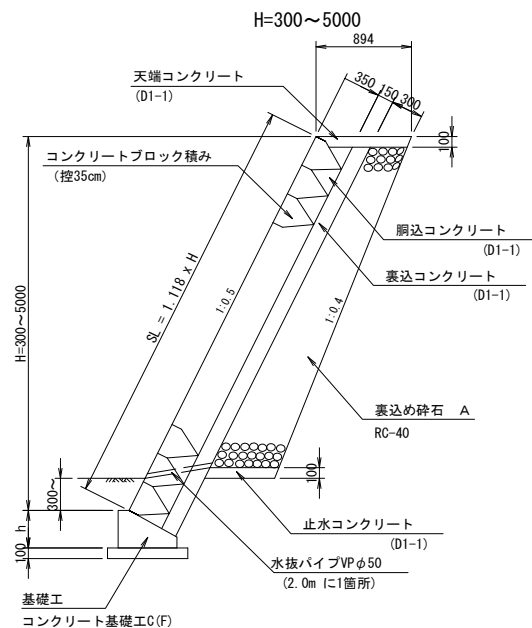
### コンクリートブロック積工一般図(9)

上トマム橋(下り線) A2橋台

### コンクリートブロック積工標準断面図

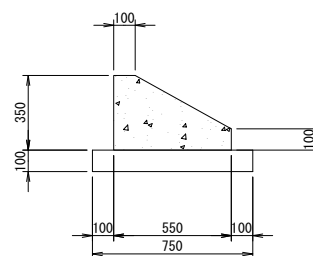
盛土部 1:0.5

S=1 : 100



基礎工詳細図 S=1 : 50  
コンクリート基礎工C(F)

S=1 : 50



### 基礎工材料表

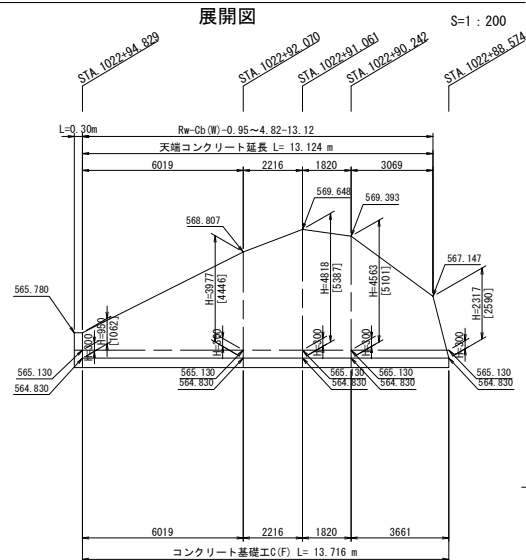
基礎工材料表			10m当り	
種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工	
			C(F)	摘 要
構造物側削	普 通 部	m <sup>3</sup>	7.62	
埋 戻 し		m <sup>3</sup>	3.13	
コンクリート	C2-1	m <sup>3</sup>	1.36	
型 わ く	D	m <sup>2</sup>	4.50	
基 礎 材	RC-40	m <sup>3</sup>	0.75	

コンクリートブロック積工数量表

項目	種 別	規格・寸法	数 量		合 計	備 考
			単位	⑧		
コンクリート打り工	コンクリート打り工(線)縦35cm A	ブロック面積	m <sup>2</sup>	49.9	49.9	
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	1.2	1.2	天端コンクリート
		型わく D	m <sup>2</sup>	1.5	1.5	天端コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	7.5	7.5	裏込コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	11.0	11.0	廊下コンクリート
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.9	0.9	止水コンクリート
		型わく D	m <sup>2</sup>	1.5	1.5	止水コンクリート
		目地材t=10mm	m <sup>2</sup>	2.9	2.9	
		水抜きパイプ	本	25	25	VP φ50
基礎め砕砂石	A	R2-40	m <sup>3</sup>	20.3	20.3	
基礎工	コンクリート基礎工 C (F)		m	13.7	13.7	

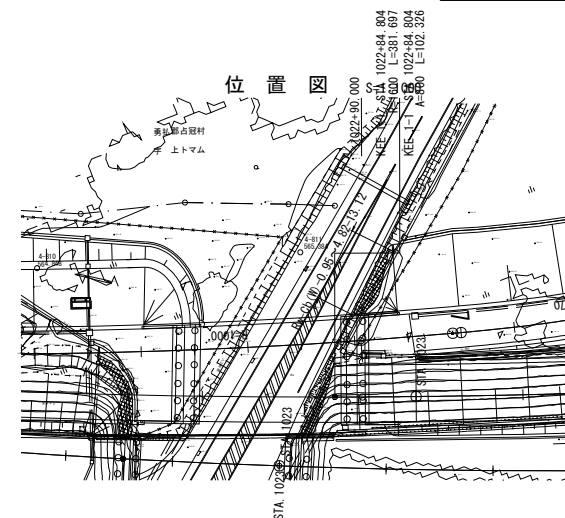
⑧ STA. 1022+88.574~STA. 1022+94.829(L) 盛土1:0.5

S=1 : 200



DL=560.000

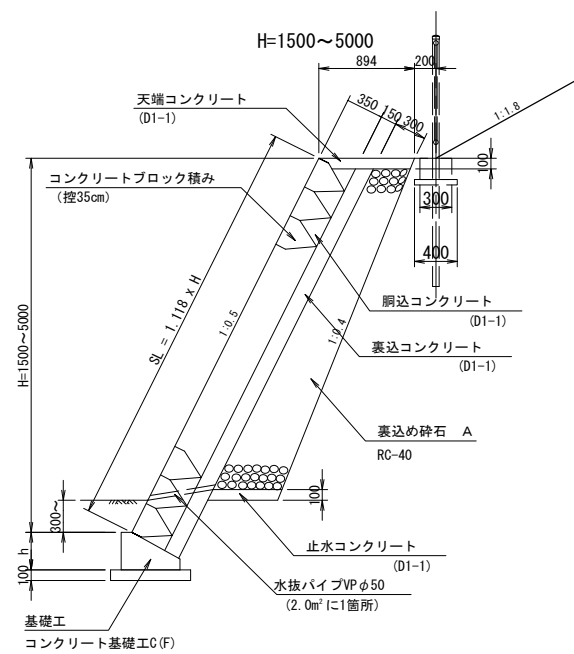
位置图



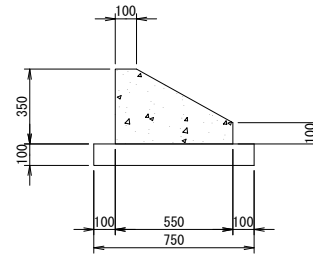
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(9)		
縮 尺	図示	図面番号	9 / 50
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事所		

# コンクリートブロック積工一般図(10)

コンクリートブロック積工標準断面図  
盛土部 1:0.5 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:50  
コンクリート基礎工C(F)



種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工	10m当り	摘 要
機連物置削	普通部	m <sup>2</sup>	7.62		
埋 戻 し		m <sup>2</sup>	3.13		
コンクリート	C2-1	m <sup>2</sup>	1.36		
型 わ く	D	m <sup>2</sup>	4.50		
基 礎 材	RC-40	m <sup>2</sup>	0.75		

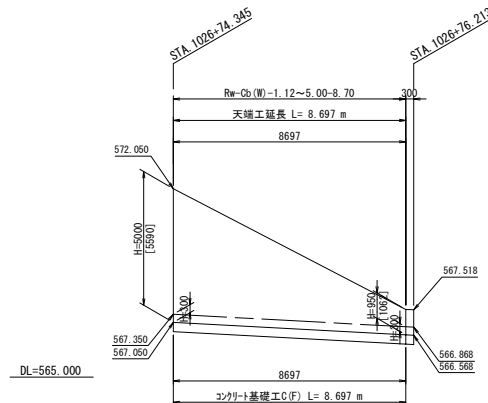
コンクリートブロック積工数量表

項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量		合 計	備 考
				⑨	⑩		
コンクリートブロック積工	コンクリートブロック積工 (縦) 控35cm A	ブロック積面積	m <sup>2</sup>	28.9	324.6	353.5	
	コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.8	7.9	8.7	天端コンクリート	
	型わく D	m <sup>2</sup>	1.0	9.9	10.9	天端コンクリート	
	コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	4.3	48.7	53.0	裏込コンクリート	
	コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	6.4	71.4	77.8	側込コンクリート	
	コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.5	5.7	6.2	止水コンクリート	
	型わく D	m <sup>2</sup>	1.0	10.1	11.1	止水コンクリート	
	目地材 t=10mm	m <sup>2</sup>	—	16.2	16.2		
	水抜きパイプ	本	15	163	178	VPφ50	
	裏込め砕石	A	m <sup>3</sup>	10.9	128.3	139.2	
基礎工	コンクリート基礎工C(F)		m	8.7	92.3	101.0	

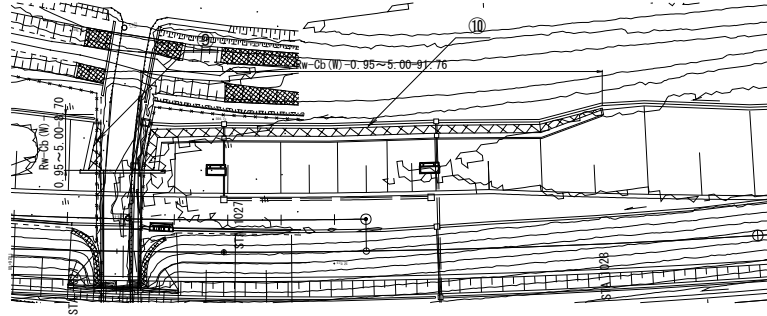
⑨ STA. 1026+74. 345~STA. 1026+76. 213 (L) 盛土1:0.5

展開図

S=1:200



位置図 S=1:1000

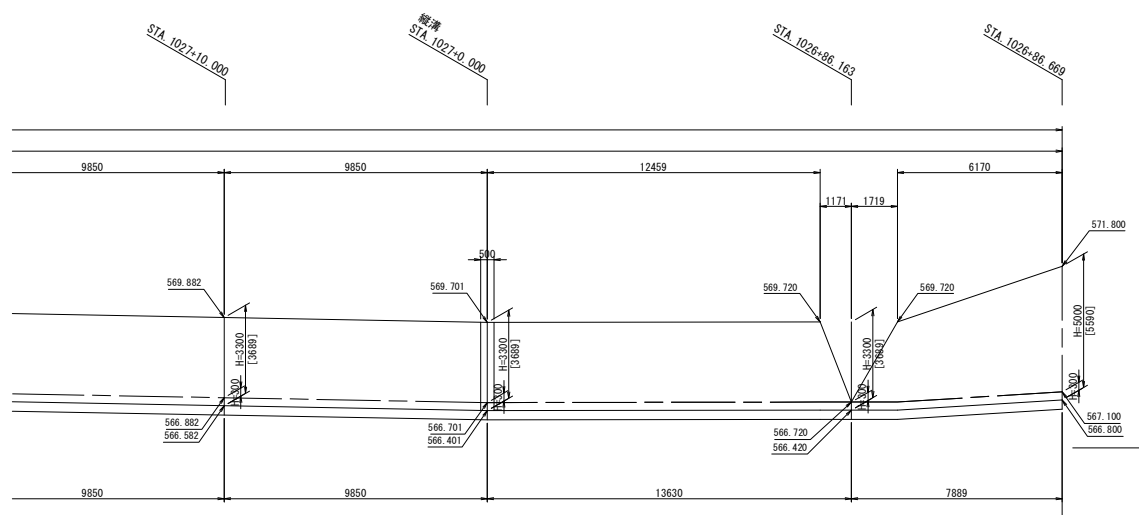
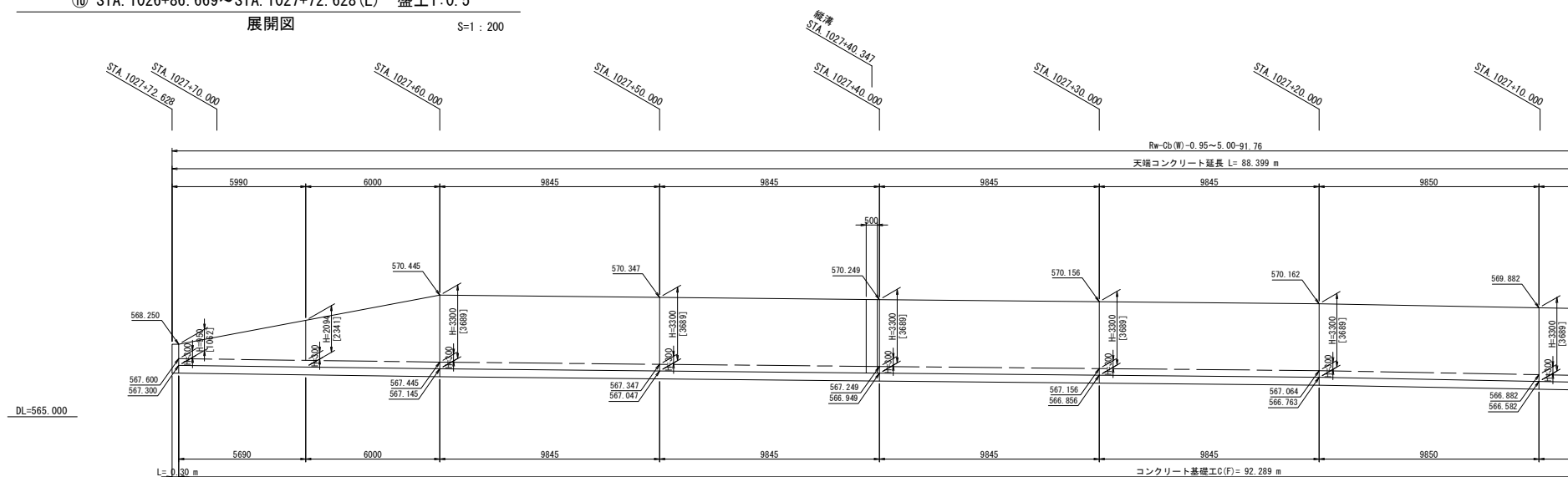


道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図(10)		
縮 尺	図示	図面番号	10 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工 事 務 所		



展開図

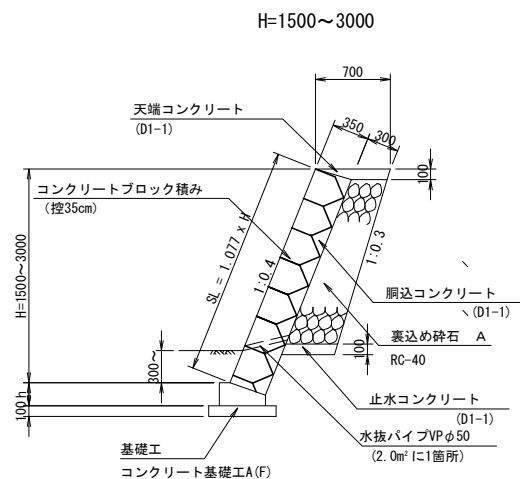
S=1 : 200



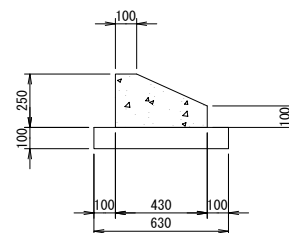
道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	コンクリートブロック工一般図(11)		
縮 尺	図示	図面番号	11 / 50
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事所		

コンクリートブロック積工一般図(12)  
両国川第二橋(下り線) A1橋台

コンクリートブロック積工標準断面図  
盛土部 1:0.4 S=1:100



基礎工 S=1 : 50  
コンクリート基礎工A(F)



基礎工材料表 10m当り

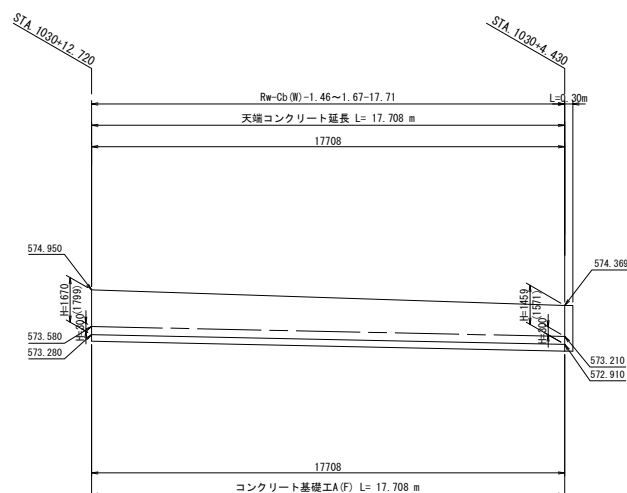
種 別	規格・寸法	単位	コンクリート基礎工		摘 要
			A(F)		
構造物掘削	普 通 部	m <sup>3</sup>	6.21		
埋 戻 し		m <sup>3</sup>	3.34		
コンクリート	C2-1	m <sup>3</sup>	1.47		
型 わ く	D	m <sup>2</sup>	6.20		
基 礎 材	RC-40	m <sup>3</sup>	1.12		

コンクリートブロック積工数量表

項目	種別	規格・寸法	数量		合計	備考
			単位	①		
コンクリートポンプ機工	コンクリートポンプ機工(鉄筋35cmB)	プロット面積	m <sup>2</sup>	29.8	29.8	
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	1.2	1.2	天端シヤンク
		型かく D	m <sup>2</sup>	1.9	1.9	天端シヤンクシヤンク
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	—	—	表込シヤンク
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	6.6	6.6	筋込シヤンク
		コンクリート D1-1	m <sup>2</sup>	0.8	0.8	止水シヤンク
		型かく D	m <sup>2</sup>	1.9	1.9	止水シヤンク
		目地材t=10mm	m <sup>2</sup>	2.5	2.5	
		水抜き金「Y」	本	15	15	VPφ50
表込込砕石	A	RC-40	m <sup>2</sup>	8.7	8.7	
基礎工	コンクリート基礎工 A (F)		m	17.7	17.7	

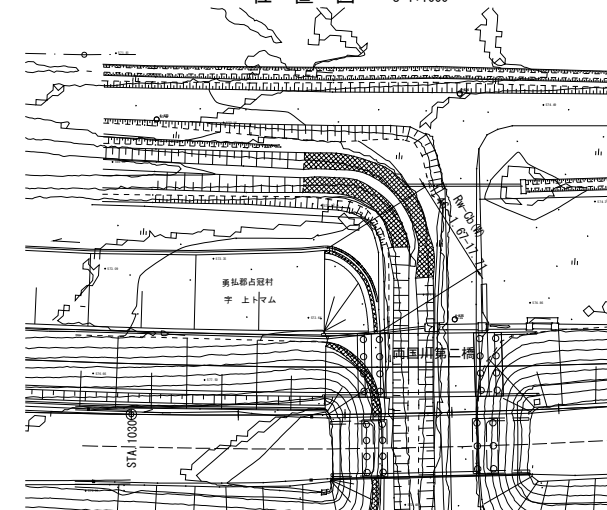
⑪ STA. 1030+4.430~STA. 1030+12.720(L) 盛土1:0.4

展開図



DL=570.000

位置图 S=1:1000



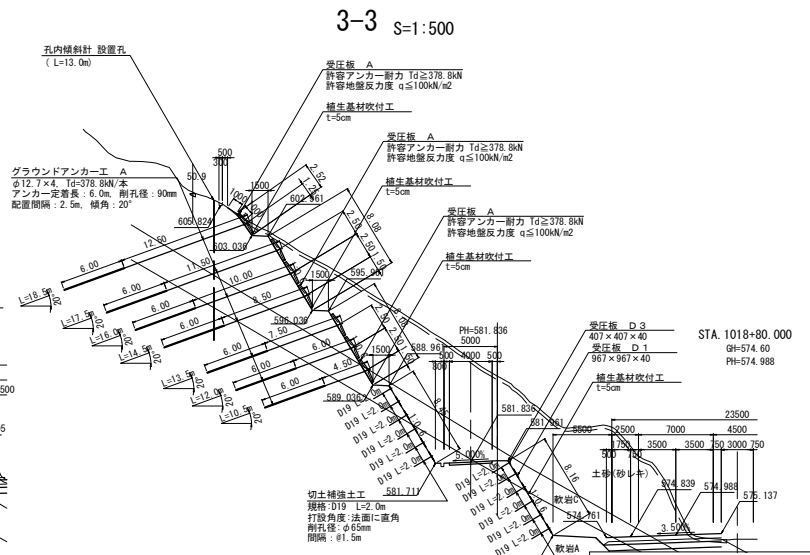
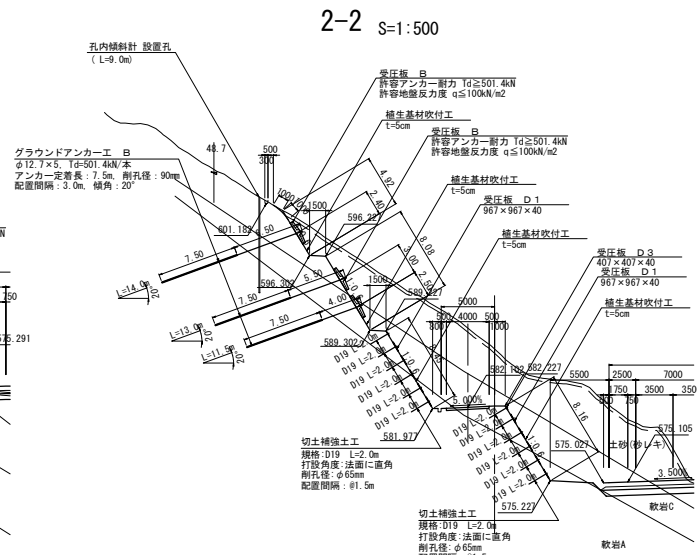
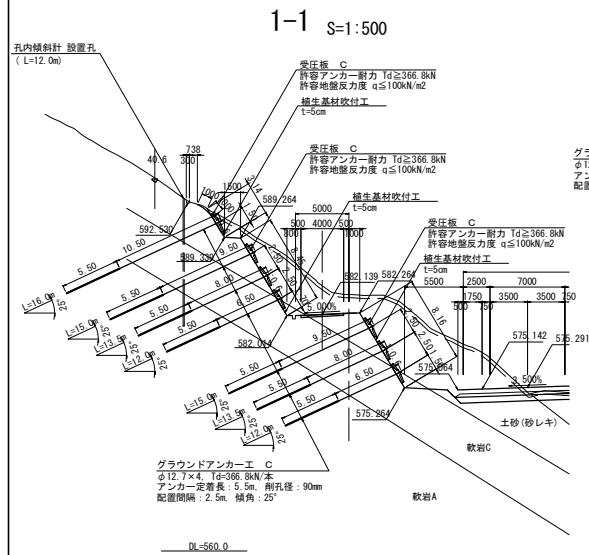
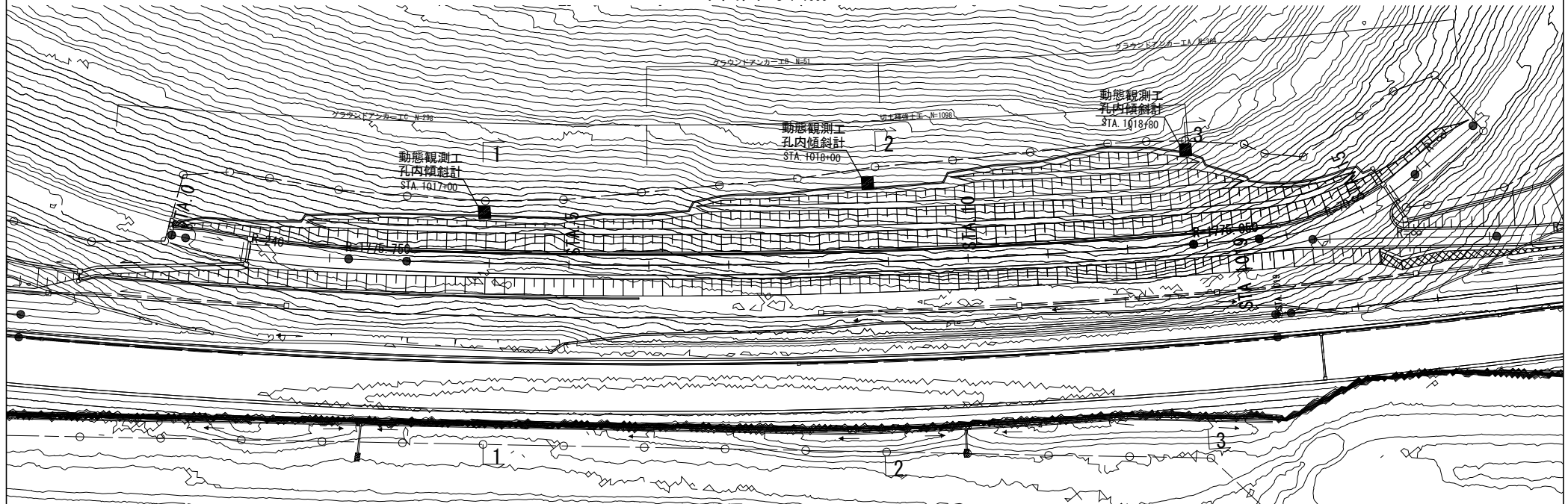
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図 (13)		
縮 尺	図示	図面番号	13 / 5
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工場整備部		

道 東 自 動 車 道 ト マ ム ! C 工 事			
図面の種類	コンクリートブロック積工一般図 (14)		
縮 尺	図示	図面番号	14 / 5
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

# のり面保護工一般図

15 / 53

平面図 S=1:1000



※動態観測工 孔内傾斜計は、率計上対象項目としている。  
※グラウンドアンカー工の各土質の削孔長は、土工(本線)横断図を参照のこと。

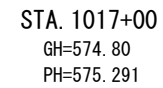
道東自動車道 トマム I C 工事				
図面の種類	のり面保護工一般図			
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 53	
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工標準断面図 (1)		
縮 尺	1:250	図面番号	16 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



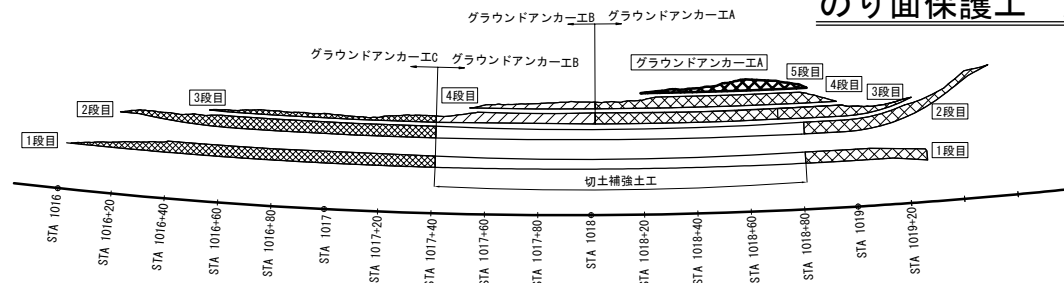
道東自動車道 トマムＩＣ工事			
図面の種類	のり面保護工標準断面図 (2)		
縮 尺	1:250	図面番号	17 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



道 東 自 動 車 道 ト マ ム I C 工 事			
図面の種類	のり面保護工標準断面図 (3)		
縮 尺	1:250	図面番号	18 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

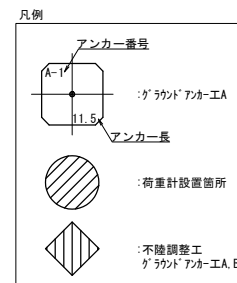


## のり面保護工 展開図 (1) S=1:200



位置図

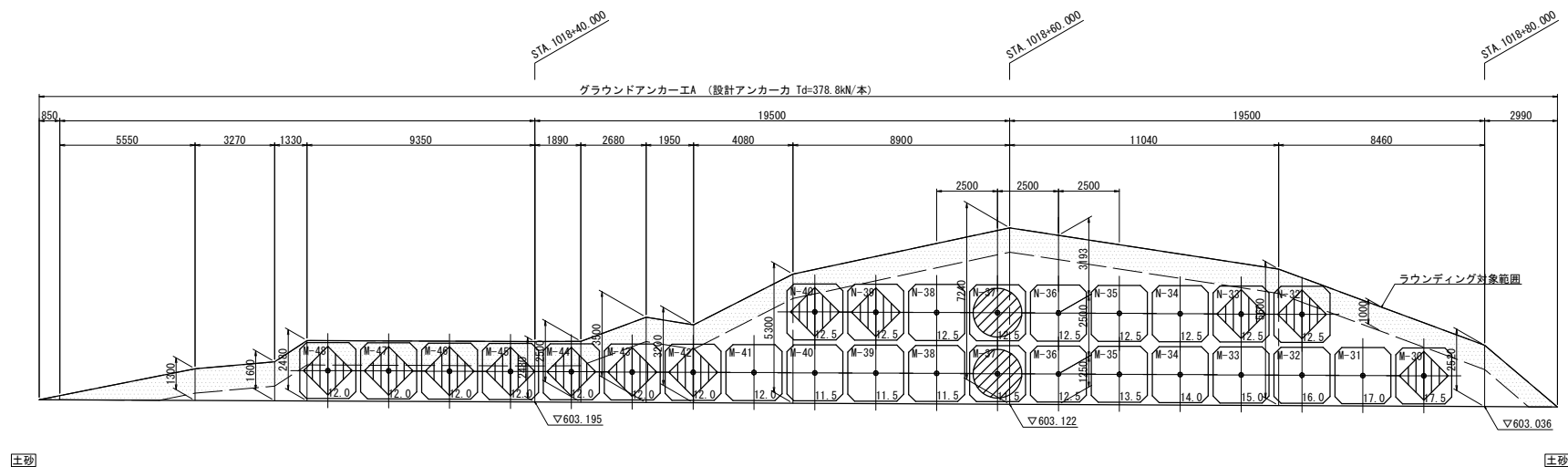
S=1:2000



数量表 (下から5段目)

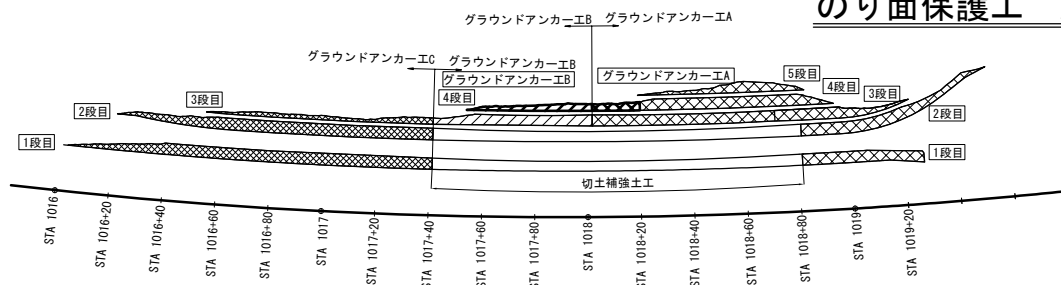
項目	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
グラウンドアンカー工	A (L=11.5m)	φ12.7mm×4、剛孔径90mm	本	4	Td=378.8kN/本
	A (L=12.0m)		本	8	
	A (L=12.5m)		本	10	
	A (L=13.5m)		本	1	
	A (L=14.0m)		本	1	
	A (L=15.0m)		本	1	
	A (L=16.0m)		本	1	
	A (L=17.0m)		本	1	
	A (L=17.5m)		本	1	
	荷重計設置工378.8kN		個	2	
受圧板工	受圧板A	許容アンカー耐力 Td≧378.8kN	基	28	許容地盤反力度 q≦100kN/m <sup>2</sup>
	不陸調整工A	2945×2945×100	枚	12	

下から5段目



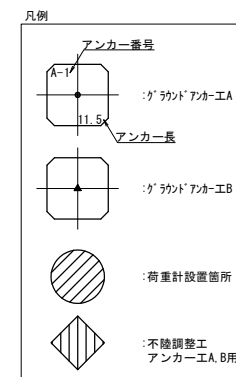
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (1)		
縮 尺	1:200	図面番号	19 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

## のり面保護工 展開図 (2) S=1:200

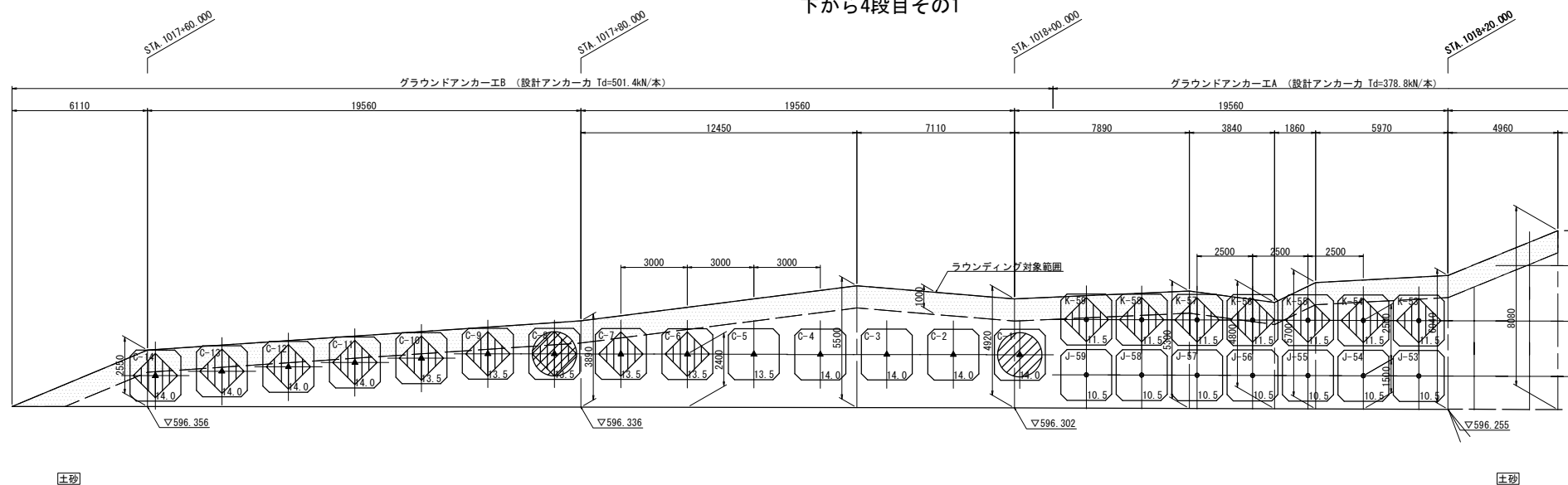


位置図

S=1:2000

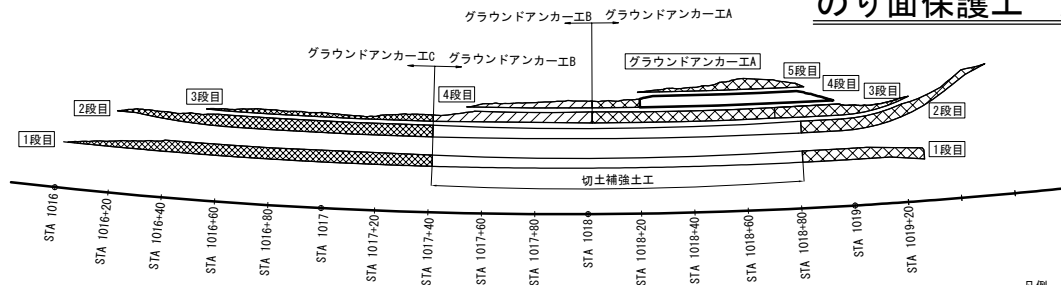


下から4段目その1



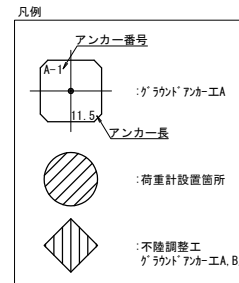
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (2)		
縮 尺	1:200	図面番号	20 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

## のり面保護工 展開図 (3) S=1:200



位置図

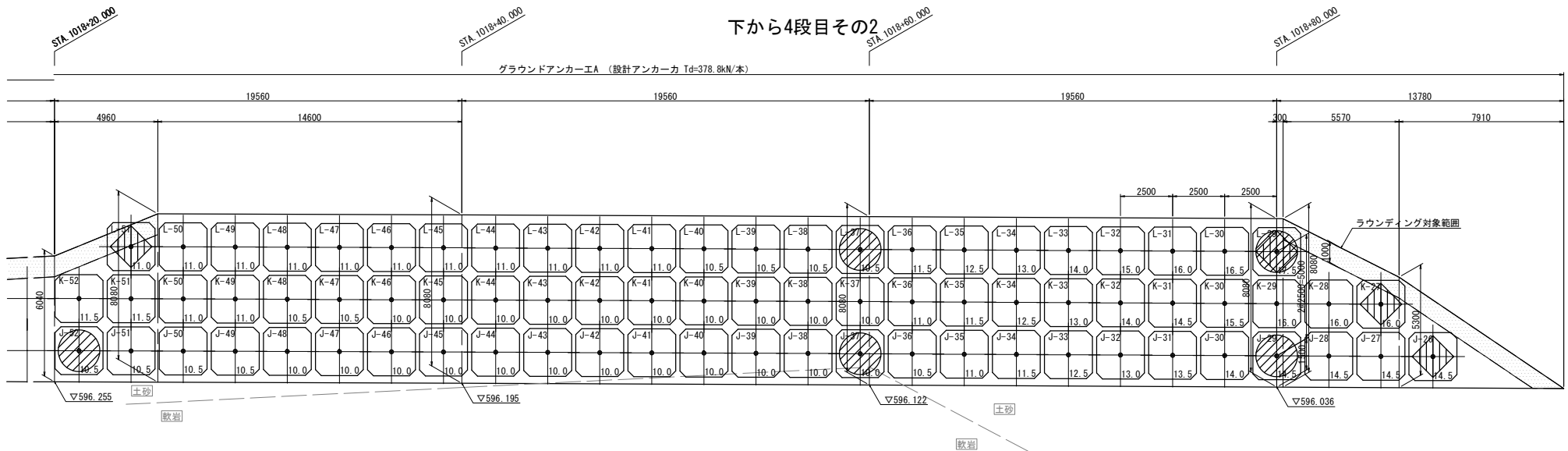
S=1:2000



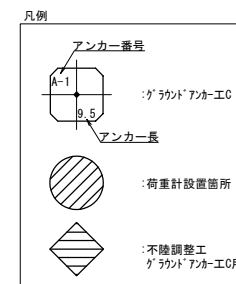
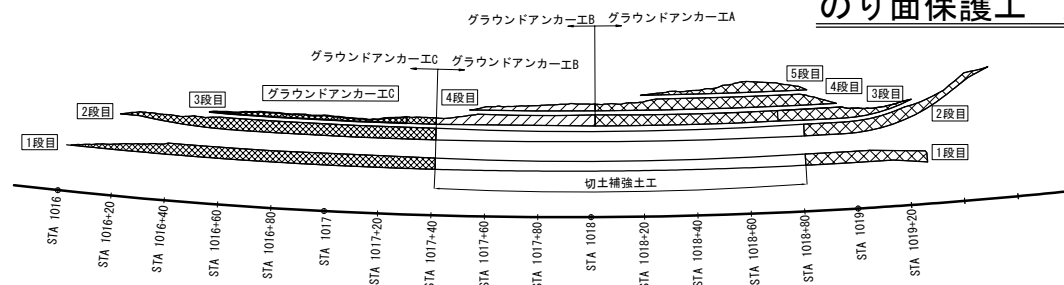
数量表 (下から4段目) (その1~その2)

項目	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
グラウンドアンカー工	A (L=10.0m)	φ12.7mm×4、削孔径90mm	本	22	Td=378.8kN/本
	A (L=10.5m)		本	18	
	A (L=11.0m)		本	15	
	A (L=11.5m)		本	12	
	A (L=12.5m)		本	3	
	A (L=13.0m)		本	3	
	A (L=13.5m)		本	1	
	A (L=14.0m)		本	3	
	A (L=14.5m)		本	5	
	A (L=15.0m)		本	1	
	A (L=15.5m)		本	1	
	A (L=16.0m)		本	4	
	A (L=16.5m)		本	1	
	A (L=17.5m)		本	1	
受圧板工	B (L=13.5m)	φ12.7mm×5、削孔径90mm	本	6	Td=501.4kN/本
	B (L=14.0m)		本	8	
	荷重計設置工378.8kN		個	5	
	荷重計設置工501.4kN		個	2	
	受圧板A	許容アンカー耐力 Td=378.8kN a=100kN/m <sup>2</sup>	基	90	
	受圧板B	許容アンカー耐力 Td=501.4kN a=100kN/m <sup>2</sup>	基	14	
不陸調整工	不陸調整工A	2945×2945×100	枚	11	
	不陸調整工B		枚	9	

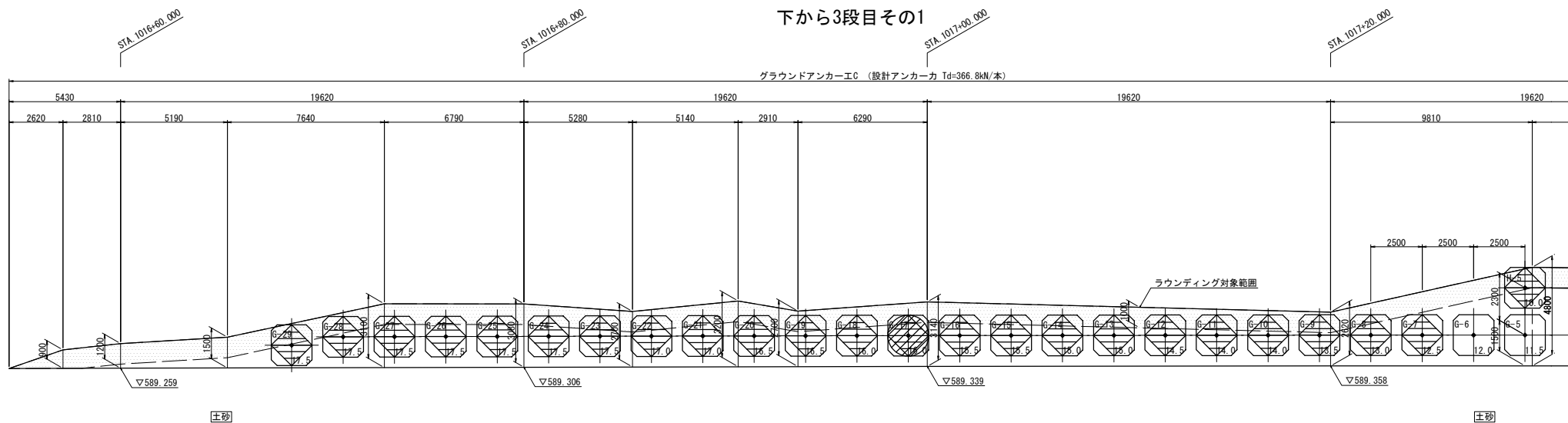
下から4段目その2



# のり面保護工 展開図 (4) S=1 : 200

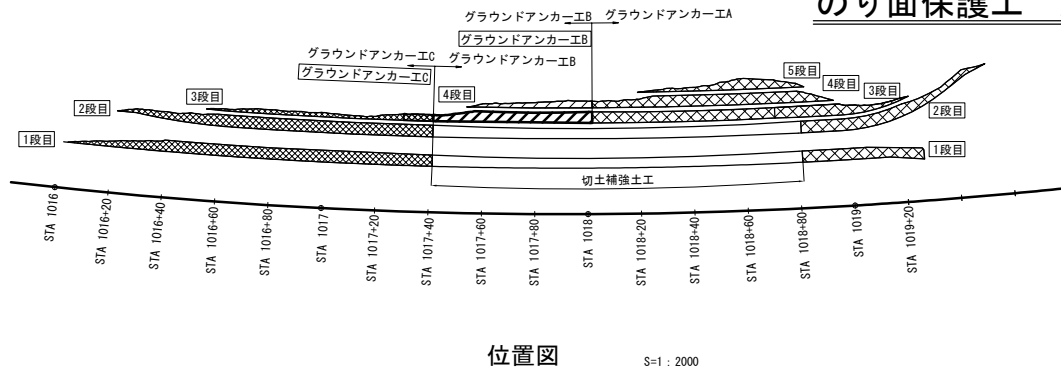


## 下から3段目その1



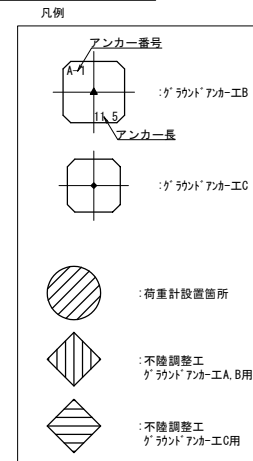
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (4)		
縮 尺	1:200	図面番号	22 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

## のり面保護工 展開図 (5) S=1 : 200



位置図

S=1 : 2000

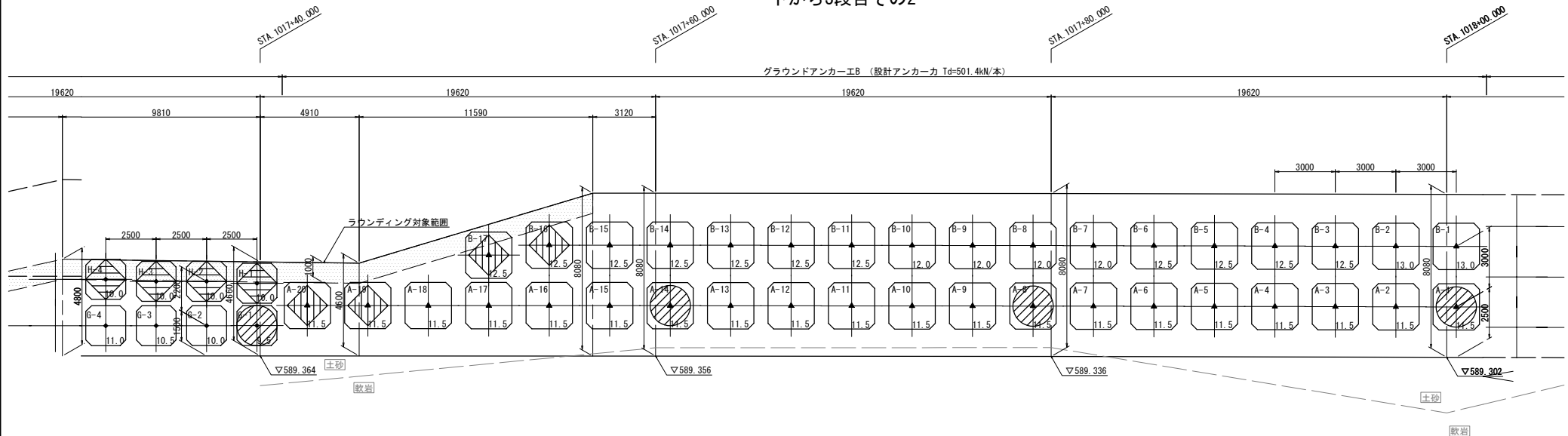


数量表 (下から3段目) (その1~その2)

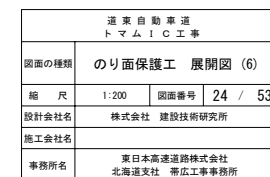
項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量	備 考
グラウンドアンカー工	C(L=9.5m)	φ12.7mm×4、削孔径90mm	本	1	Td=366.8kN/本
	C(L=10.0m)		本	6	
	C(L=10.5m)		本	1	
	C(L=11.0m)		本	1	
	C(L=11.5m)		本	1	
	C(L=12.0m)		本	1	
	C(L=12.5m)		本	1	
	C(L=13.0m)		本	1	
	C(L=13.5m)		本	1	
	C(L=14.0m)		本	2	
	C(L=14.5m)		本	1	
	C(L=15.0m)		本	2	
	C(L=15.5m)		本	2	
	C(L=16.0m)		本	2	
	C(L=16.5m)		本	2	
	C(L=17.0m)		本	2	
	C(L=17.5m)		本	7	
	荷重計設置工366.8kN		個	2	
受圧板工	受圧板C	許容アンカー耐力 Td=366.8kN	基	34	許容地盤反力度 α=100kN/m <sup>2</sup>
	不随調整工C	2445×2445×100	枚	28	

グラウンドアンカー工C (設計アンカー力 Td=366.8kN/本)

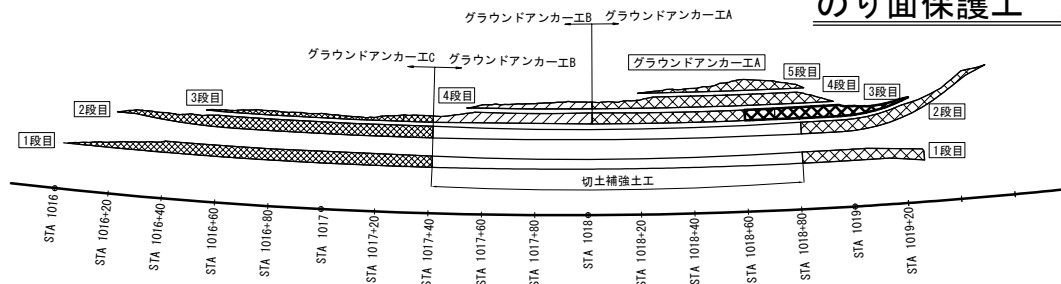
## 下から3段目その2



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (5)		
縮 尺	1:200	図面番号	23 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工事事務所		

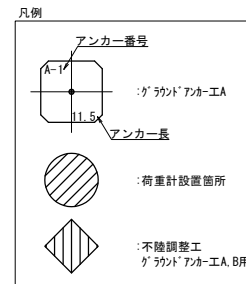


## のり面保護工 展開図 (7) S=1:200



位置図

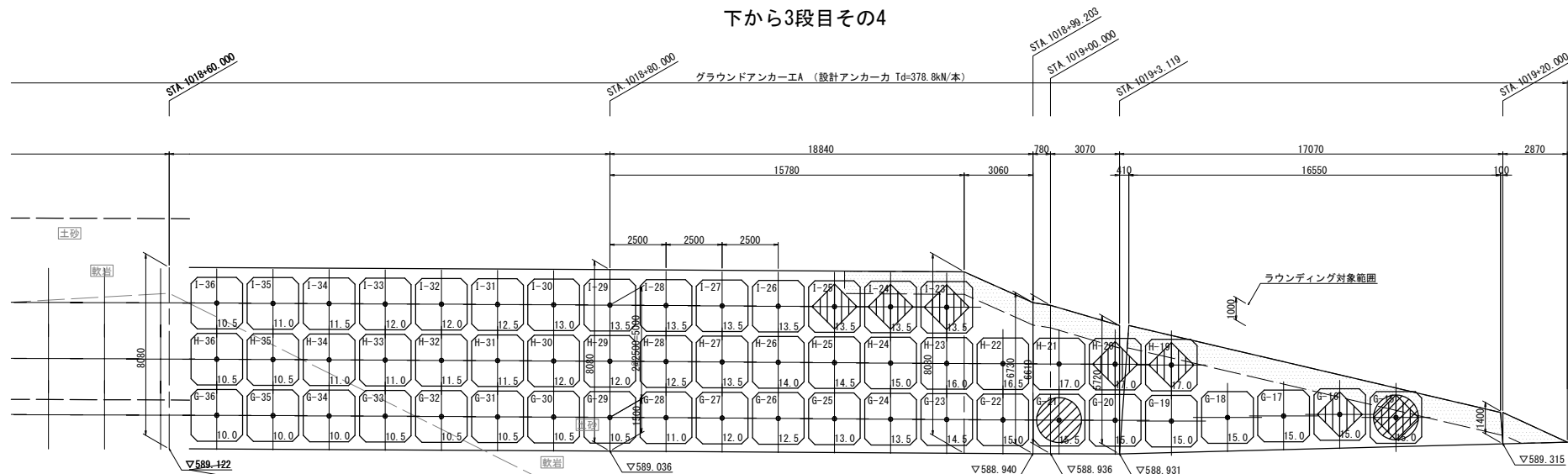
S=1:2000



数量表 (下から3段目) (その3~その4)

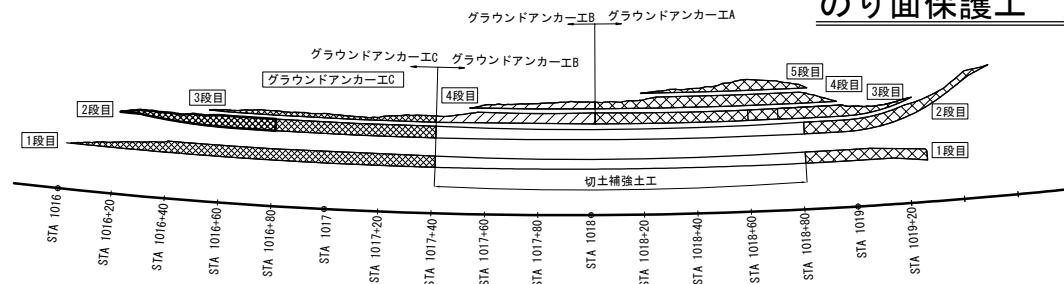
項目	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
グラウンドアンカー工	A (L=10.0m)	φ12.7mm×4、削孔径90mm	本	72	Td=378.8kN/本
	A (L=10.5m)		本	8	
	A (L=11.0m)		本	4	
	A (L=11.5m)		本	3	
	A (L=12.0m)		本	5	
	A (L=12.5m)		本	3	
	A (L=13.0m)		本	2	
	A (L=13.5m)		本	9	
	A (L=14.0m)		本	1	
	A (L=14.5m)		本	2	
	A (L=15.0m)		本	8	
	A (L=15.5m)		本	1	
	A (L=16.0m)		本	1	
	A (L=16.5m)		本	1	
	A (L=17.0m)		本	3	
受圧板工	B (L=11.5m)	φ12.7mm×5、削孔径90mm	本	20	Td=501.4kN/本
	B (L=12.0m)		本	4	
	B (L=12.5m)		本	11	
	B (L=13.0m)		本	2	
	荷重計設置工 378.8kN		個	6	
	荷重計設置工 501.4kN		個	3	
受圧板工	受圧板A	許容アンカー耐力 Td=378.8kN 許容アンカー耐力 Td=501.4kN	基	123	許容地盤反力度 q≤100kN/m <sup>2</sup> 許容地盤反力度 q≤100kN/m <sup>2</sup>
	受圧板B		基	37	
	不陸調整工A	2945*2945*100	枚	7	
	不陸調整工B		枚	4	

下から3段目その4



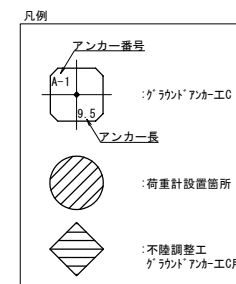
道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (7)		
縮 尺	1:200	図面番号	25 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工務事務所		

# のり面保護工 展開図 (8) S=1 : 200

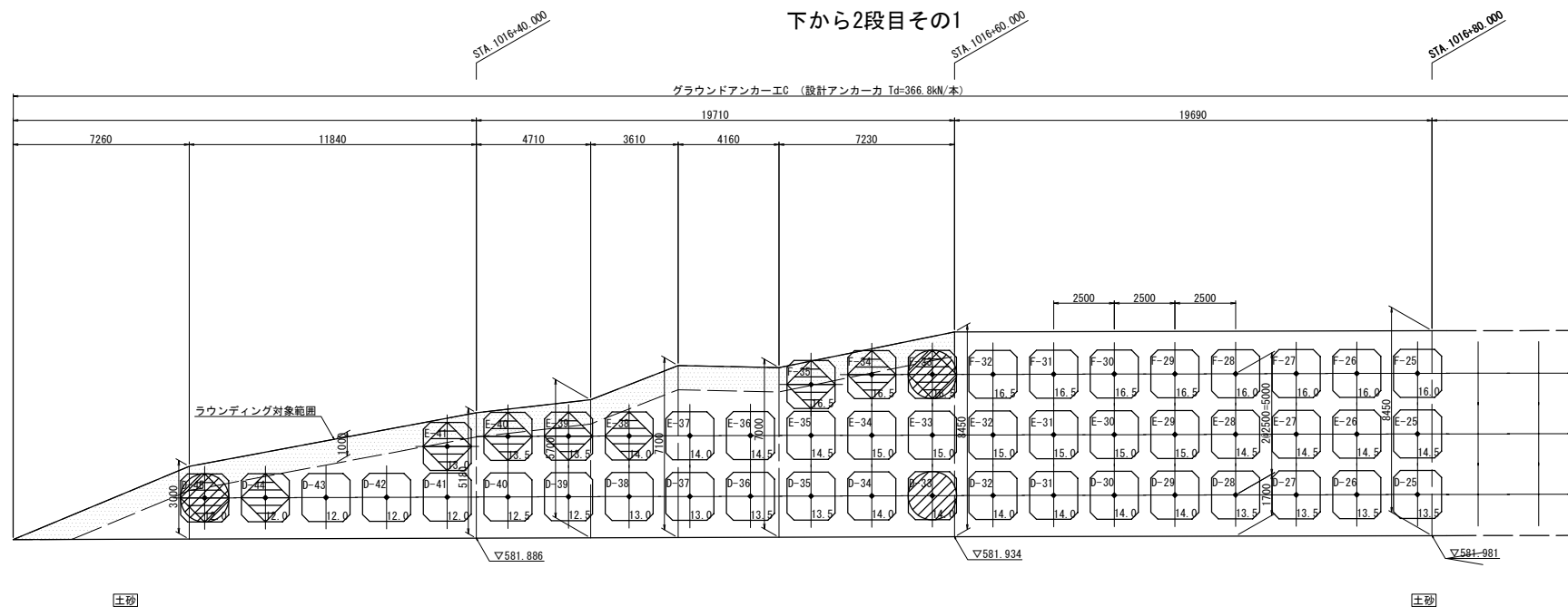


位置図

S=1 : 2000



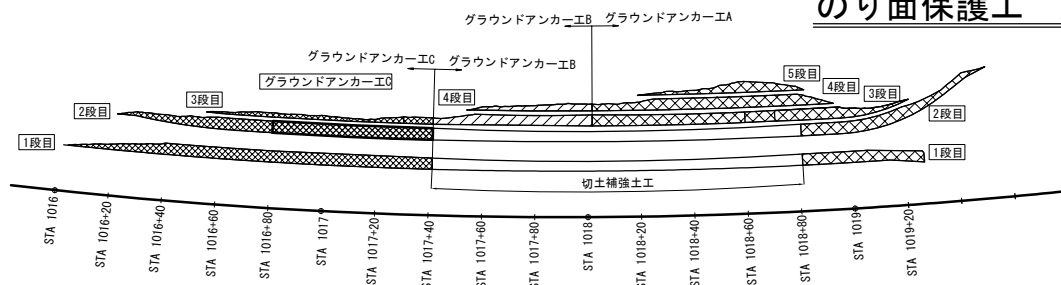
下から2段目その1



道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (8)		
縮 尺	1:200	図面番号	26 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工務事務所		

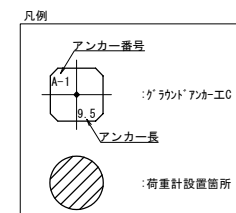


## のり面保護工 展開図 (9) S=1:200

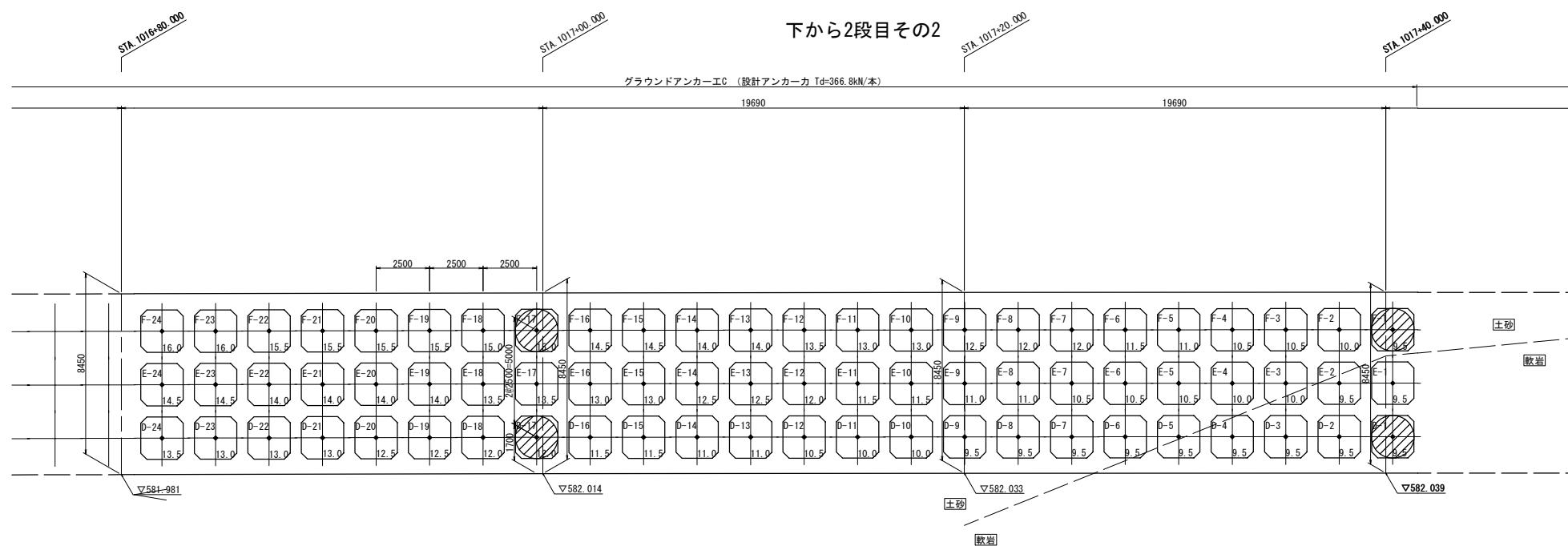


位置図

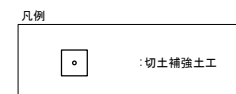
S=1:2000



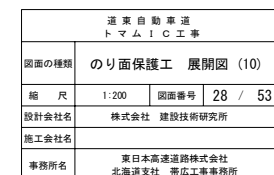
下から2段目その2



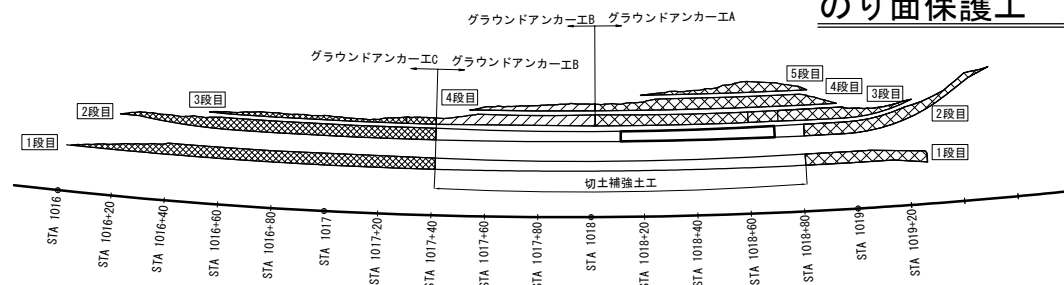
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (9)		
縮 尺	1:200	図面番号	27 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



S=1 : 2000



# のり面保護工 展開図 (11) S=1 : 200



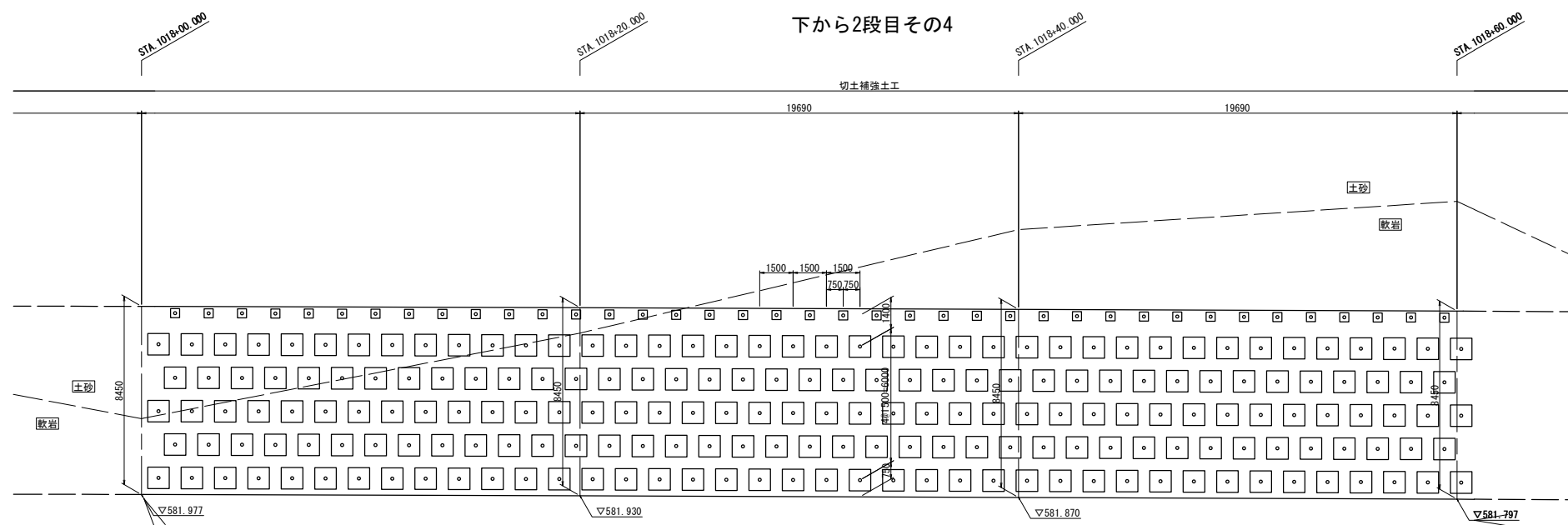
凡例



: 切土補強土工

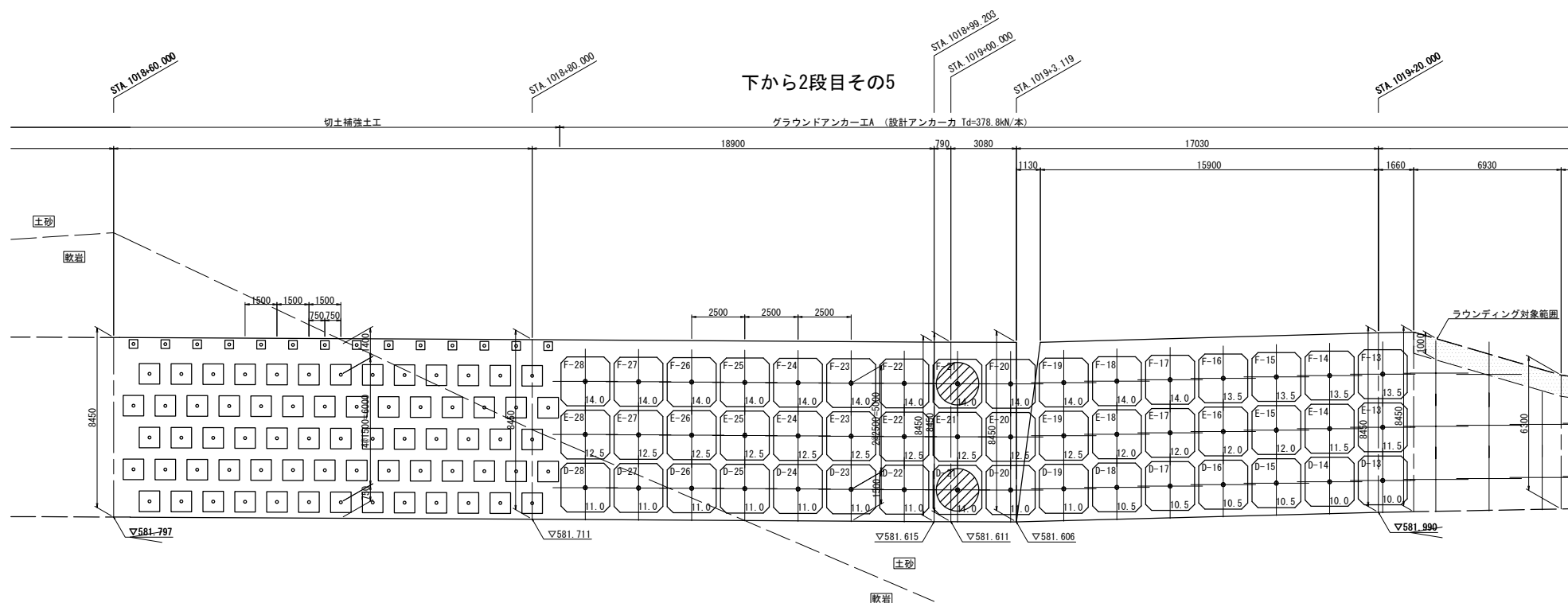
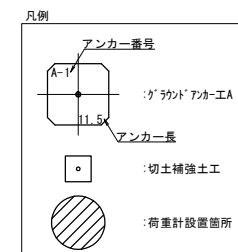
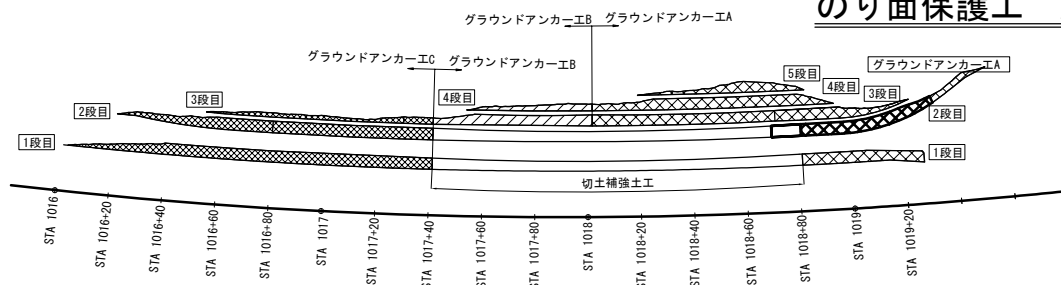
## 位置図

S=1 : 2000



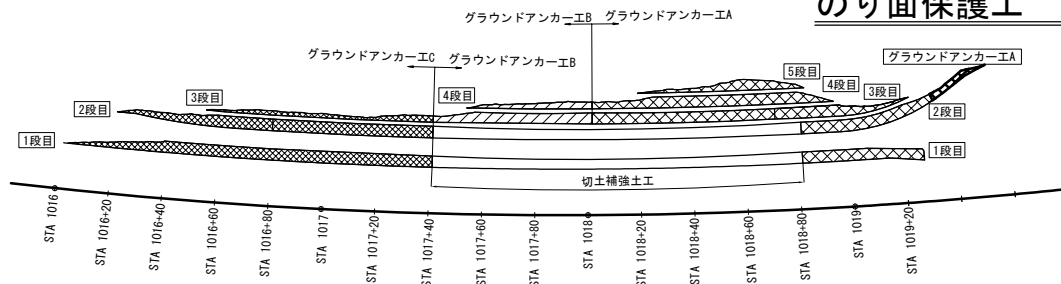
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (11)		
縮 尺	1:200	図面番号	29 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

## のり面保護工 展開図 (12) S=1:200



道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (12)		
縮尺	1:200	図面番号	30 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

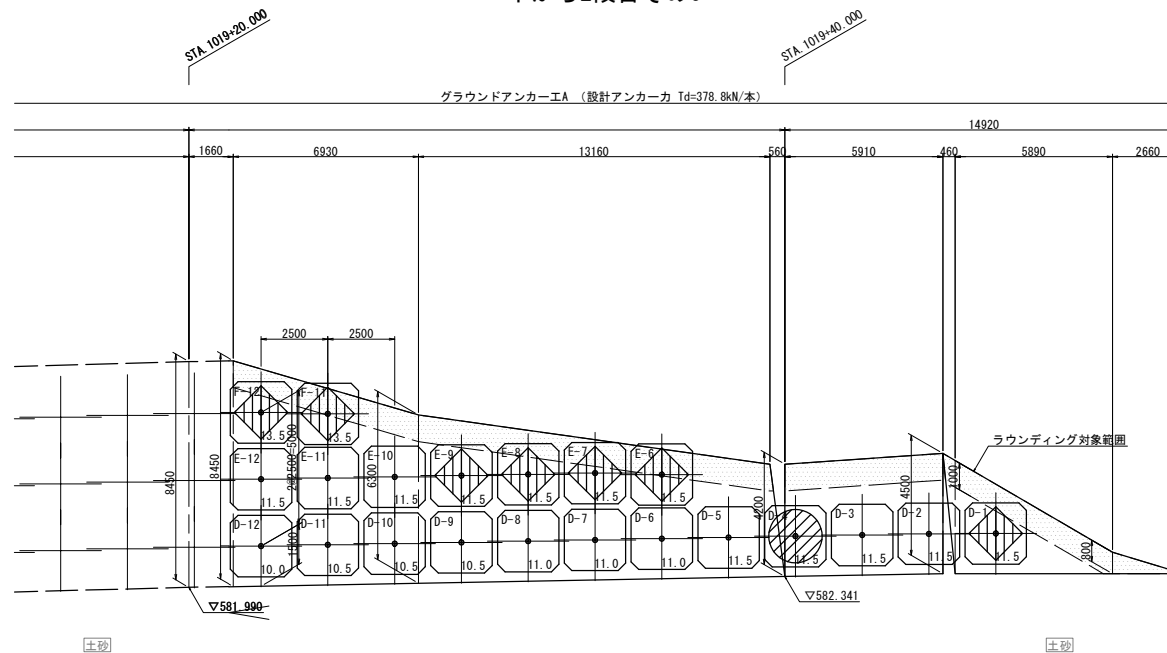
## のり面保護工 展開図 (13) S=1 : 200



位置図

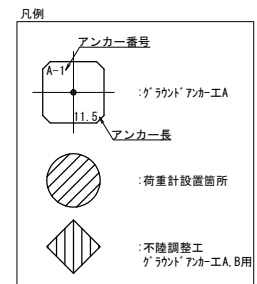
S=1 : 2000

## 下から2段目その6



数量表 (下から2段目) (その1~その6)

項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量	備 考
グラウンドアンカー工	A (L=10.0m)	φ 12.7mm × 4、削孔径90mm	本	3	Td=378.8kN/本
	A (L=10.5m)		本	7	
	A (L=11.0m)		本	13	
	A (L=11.5m)		本	14	
	A (L=12.0m)		本	4	
	A (L=12.5m)		本	10	
	A (L=13.5m)		本	6	Td=366.8kN/本
	A (L=14.0m)		本	12	
	C (L=9.5m)	φ 12.7mm × 4、削孔径90mm	本	12	
	C (L=10.0m)		本	5	
	C (L=10.5m)		本	6	
	C (L=11.0m)		本	5	
	C (L=11.5m)		本	5	
	C (L=12.0m)		本	10	
	C (L=12.5m)		本	7	
	C (L=13.0m)		本	10	
	C (L=13.5m)		本	12	
	C (L=14.0m)		本	14	
	C (L=14.5m)		本	10	
	C (L=15.0m)		本	8	
	C (L=15.5m)		本	4	
	C (L=16.0m)		本	6	
	C (L=16.5m)		本	7	
	荷重計設置工 366.8kN		個	7	
	荷重計設置工 378.8kN		個	3	
受圧板工	受圧板A	許容アンカー耐力 Td ≧ 378.8kN	基	69	許容地盤反力度 q ≧ 100kN/m <sup>2</sup>
	受圧板C	許容アンカー耐力 Td ≧ 366.8kN	基	121	許容地盤反力度 q ≧ 100kN/m <sup>2</sup>
	不陸調整工A	2945×2945×100	枚	7	
	不陸調整工C	2445×2445×100	枚	9	
切土補強土工	D19・L=2.0m	余長0.14m含む	本	549	SD345
受圧板工	受圧板D1	FRP製格子状受圧板 967×967×40	基	457	
	受圧板D3	FRP製格子状受圧板 407×407×40	基	92	

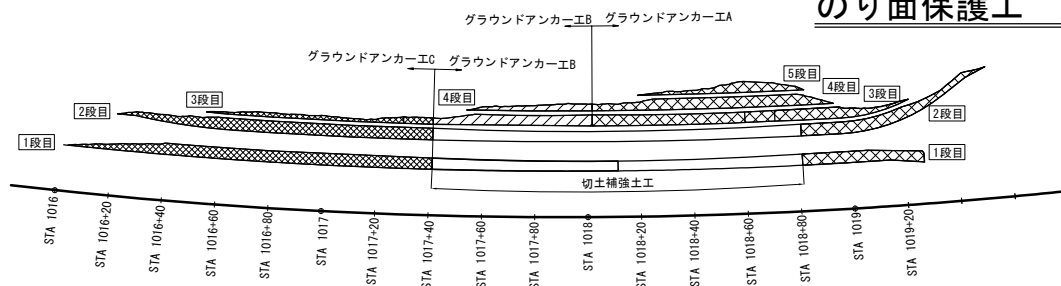


道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (13)		
縮 尺	1:200	図面番号	31 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工事事務所		





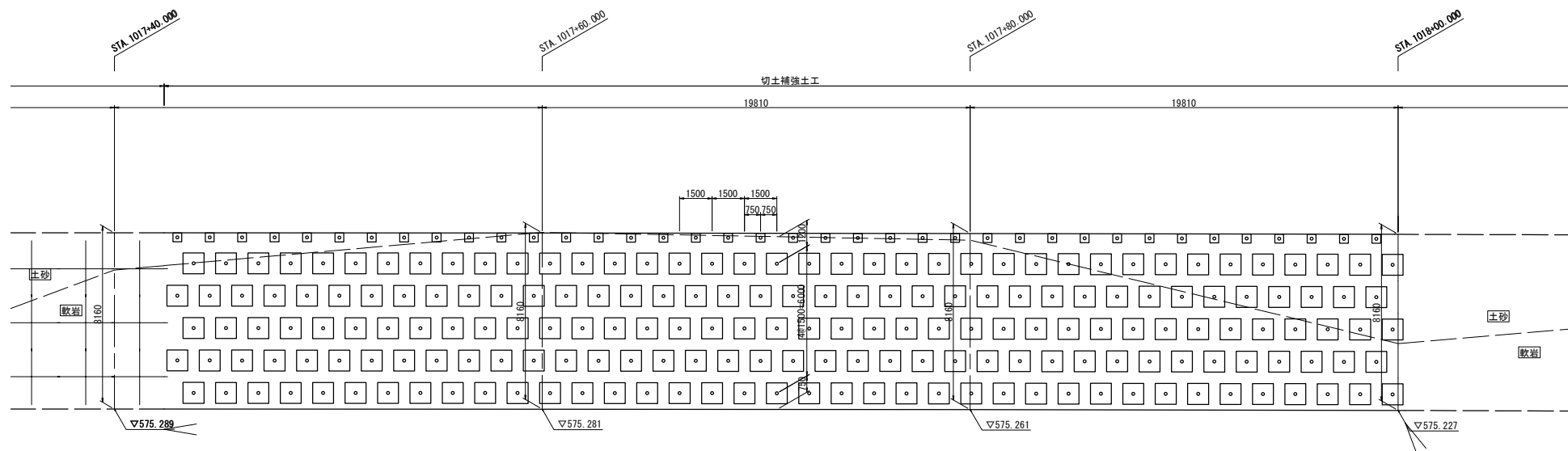
# のり面保護工 展開図 (16) S=1 : 200



位置図

S=1 : 2000

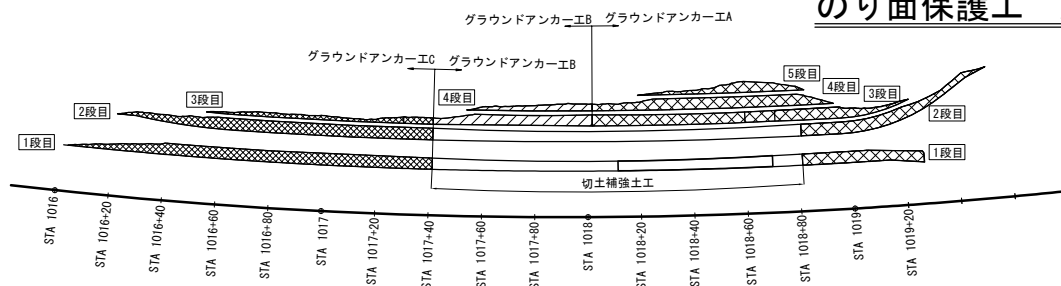
下から1段目その3



道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (16)		
縮 尺	1:200	図面番号	34 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



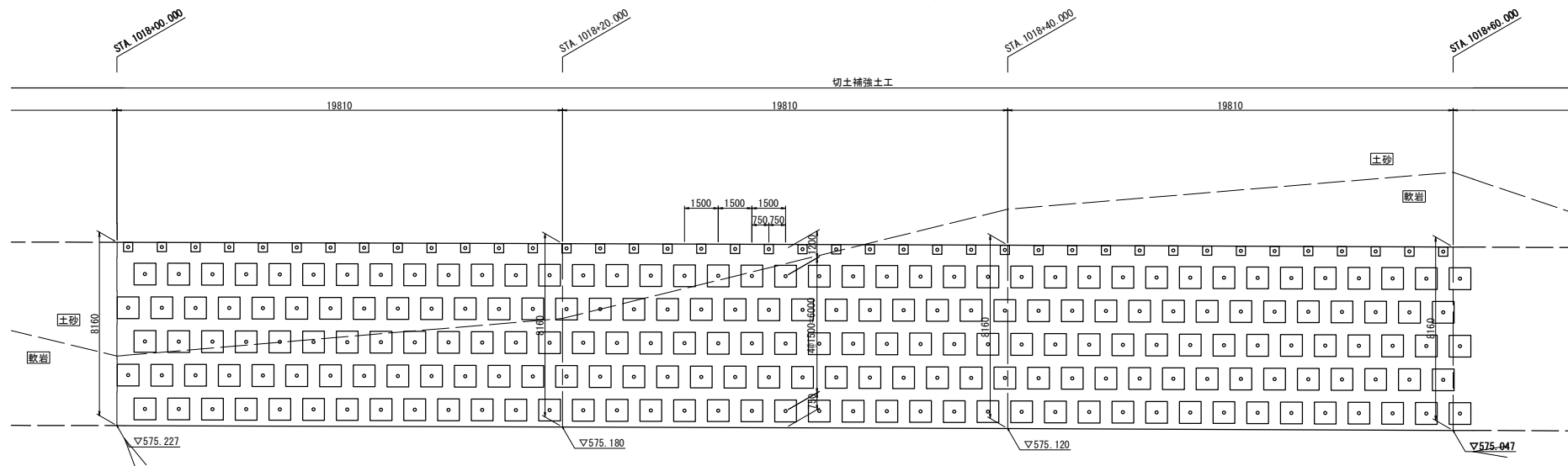
## のり面保護工 展開図 (17) S=1 : 200



位置図

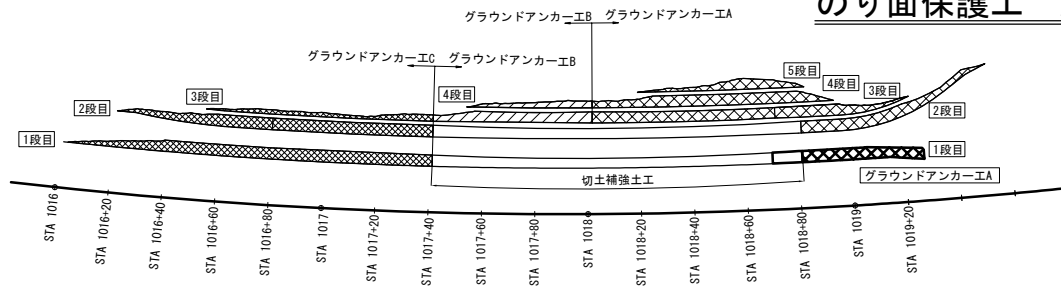
S=1 : 2000

## 下から1段目その4



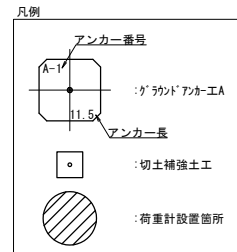
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	のり面保護工 展開図 (17)		
縮 尺	1:200	図面番号	35 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

## のり面保護工 展開図 (18) S=1 : 200

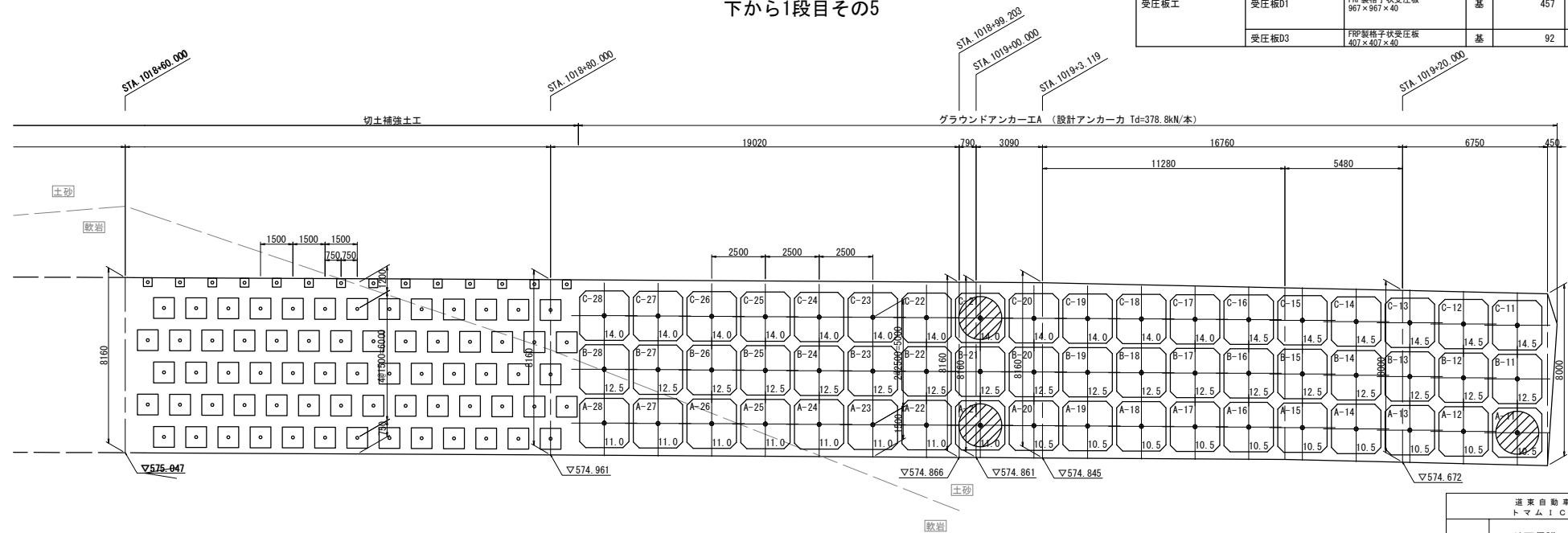


位置図

S=1 : 2000



下から1段目その5



数量表 (下から1段目) (その1~その5)

項目	種別	規格・寸法	単位	数量	備考
グラウンドアンカー工	A (L=10.5m)	φ 12.7mm × 4、削孔径90mm	本	10	Td=378.8kN/本
	A (L=11.0m)		本	8	
	A (L=12.5m)		本	18	
	A (L=14.0m)		本	12	
	A (L=14.5m)		本	6	
	C (L=9.5m)	φ 12.7mm × 4、削孔径90mm	本	12	Td=366.8kN/本
	C (L=10.0m)		本	8	
	C (L=10.5m)		本	5	
	C (L=11.0m)		本	5	
	C (L=11.5m)		本	6	
	C (L=12.0m)		本	3	
	C (L=12.5m)		本	3	
	C (L=13.0m)		本	6	
	C (L=13.5m)		本	3	
	C (L=14.0m)		本	17	
	C (L=14.5m)		本	8	
	C (L=15.0m)		本	20	
	C (L=15.5m)		本	17	
	C (L=16.0m)		本	14	
	C (L=16.5m)		本	9	
	C (L=17.0m)		本	7	
	荷重計設置工 366.8kN		個	7	
	荷重計設置工 378.8kN		個	3	
受圧板工	受圧板A	許容アンカー耐力 Td=378.8kN	基	54	許容地盤反力度 q=100kN/m <sup>2</sup>
	受圧板C	許容アンカー耐力 Td=366.8kN	基	143	
	不陸調整工C	2445×2445×100	枚	9	
切土補強土工	D19・L=2.0m	余長0.14m含む	本	549	SD345
受圧板工	受圧板D1	FRP製格子状受圧板 967×967×40	基	457	
	受圧板D3	FRP製格子状受圧板 407×407×40	基	92	

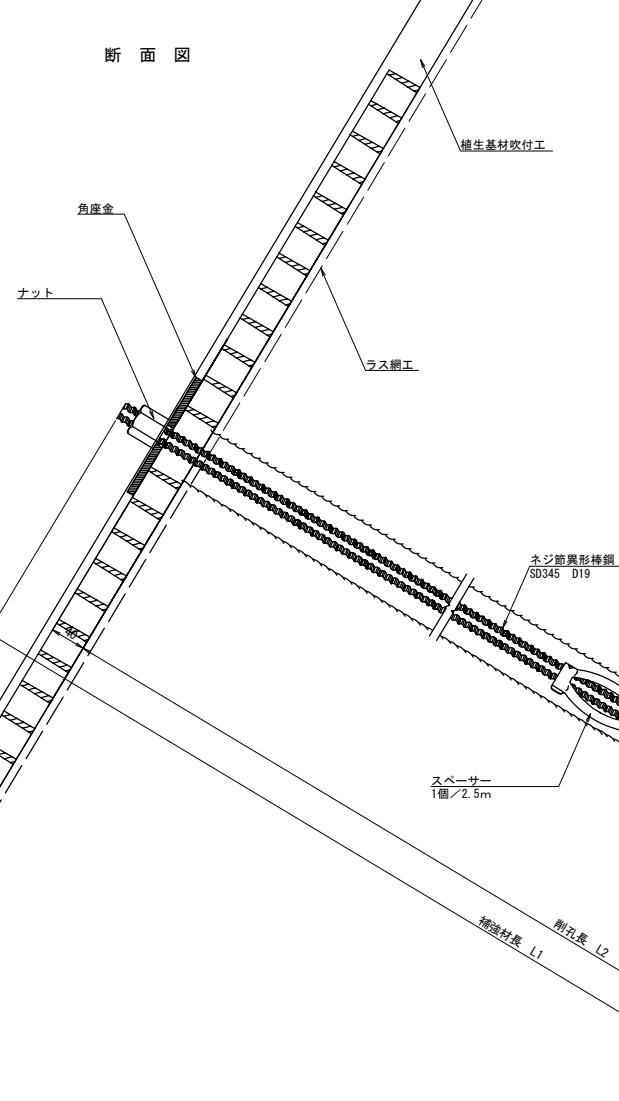
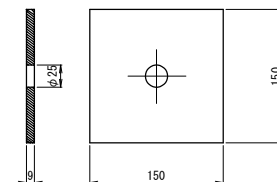
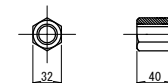
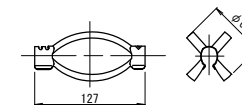
道東自動車道 トマムIC工事		
図面の種類	のり面保護工 展開図 (18)	
縮尺	1:200	図面番号 36 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所	
事務所名		

## 切土補強土工詳細図

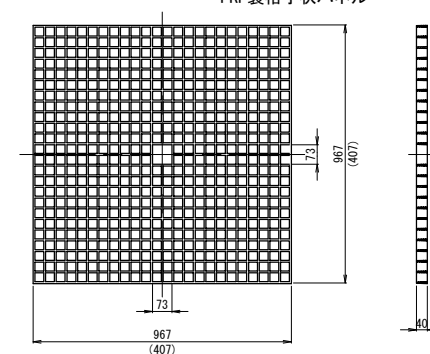
S=1:6

## 切土補強土工

断面図

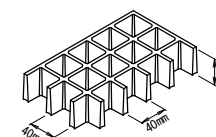
角座金  
HDZ55ナット  
HDZ35  
(D19用)スペーサー  
電気メッキ  
(D19用)受圧板D1 (D3) 詳細図  
FRP製格子状パネル

S=1:20



※ ( ) 内は、ハーフサイズ寸法。

斜視図



受圧板D1 FRP製格子状パネル (レギュラーサイズ)

材 質	FRP (連続ガラス繊維使用)
寸 法	967 × 967 × 40 mm
重 量	17.5 kg

受圧板D3 FRP製格子状パネル (ハーフサイズ)

材 質	FRP (連続ガラス繊維使用)
寸 法	407 × 407 × 40 mm
重 量	3.1 kg

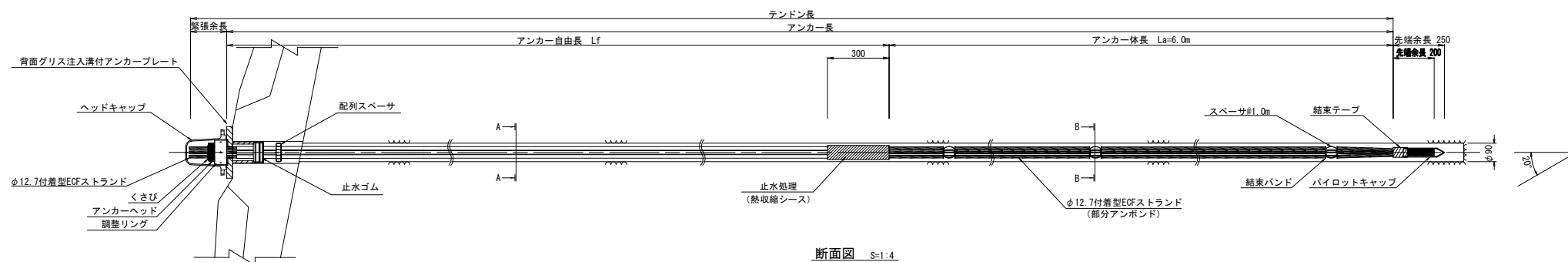
道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	切土補強土工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	37 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

# グラウンドアンカー工詳細図 (1)

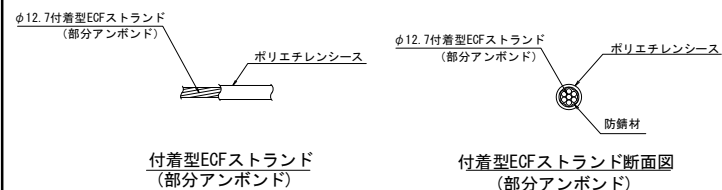
S=1:2

グラウンドアンカー工用 (φ12.7mm PC鋼より線×4本タイプ)

断面図 S=1:20

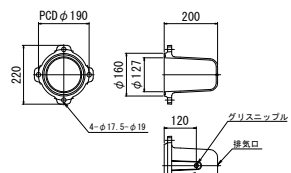


断面図 S=1:4

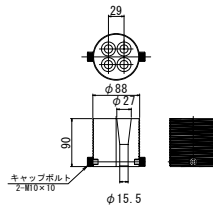


## 部品図

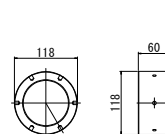
### ヘッドキャップ (RN型用) S=1:20



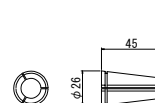
### アンカーヘッド (RN型用) S=1:10



### 調整リング S=1:10



### くさび S=1:4

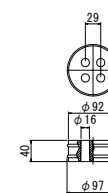


### 注入ホース S=1:10

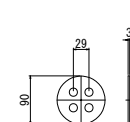


### 止水具スペーサ

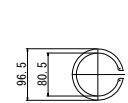
#### 止水ゴム S=1:10



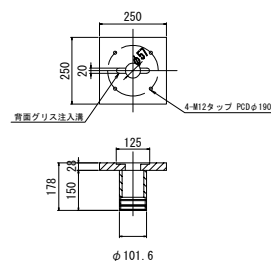
#### 押え板 S=1:10



#### ストッパ S=1:10



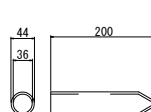
### 背面グリリス注入溝付アンカープレート (RN型用) S=1:20



### 配列スペーサ S=1:10



### パイロットキャップ S=1:10



### スペーサ S=1:10



### 結束バンド S=1:10

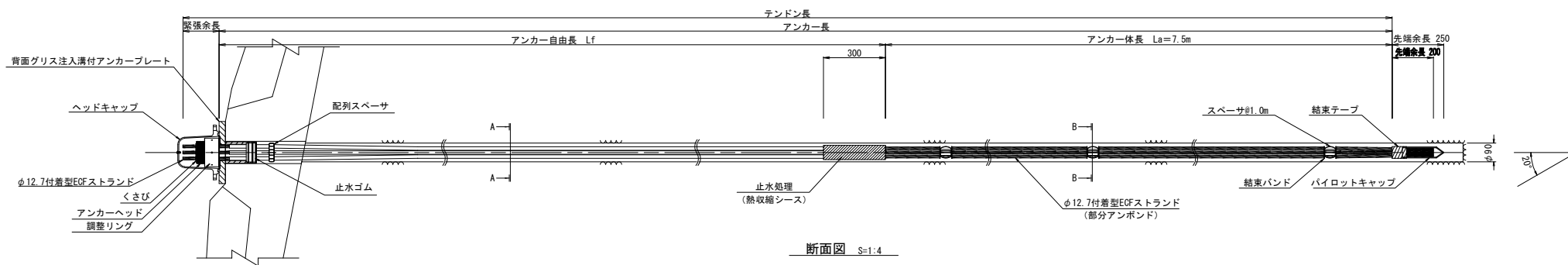


法面勾配	調整角度	
	鉛直方向	水平方向
1:0.6	11.0°	0.0°
1:0.7	15.0°	0.0°

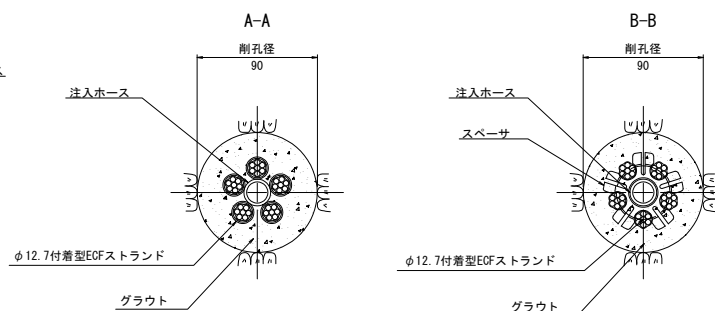
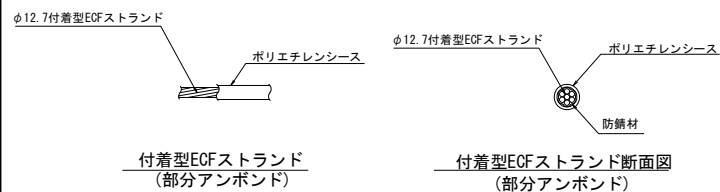
道 交 自 動 車 道 ト マ ム ! C 工 事			
図面の種類	グラウンドアンカー工詳細図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	38 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

# グラウンドアンカー工詳細図 (2) S=1:2 グラウンドアンカー工用 (φ12.7mm PC鋼より線×5本タイプ)

断面図 S=1:20

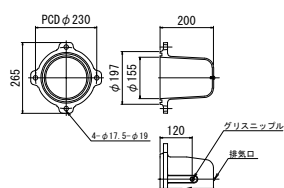


断面図 S=1:4

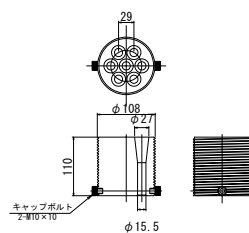


## 部品図

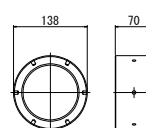
ヘッドキャップ (RN型用) S=1:20



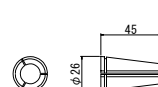
アンカーヘッド (RN型用) S=1:10



調整リング S=1:10



くさび S=1:4

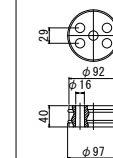


注入ホース S=1:10

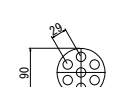


## 止水具スペーサ

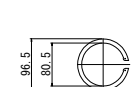
止水ゴム S=1:10



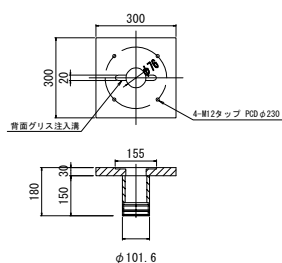
押え板 S=1:10



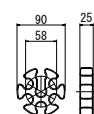
ストッパ S=1:10



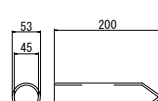
背面グリニ注入溝付アンカープレート (RN型用) S=1:20



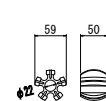
配列スペーサ S=1:10



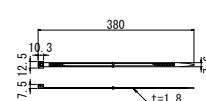
パイロットキャップ S=1:10



スペーサ S=1:10



結束バンド S=1:10



法面勾配	調整角度	
	鉛直方向	水平方向
1:0.6	11.0°	0.0°

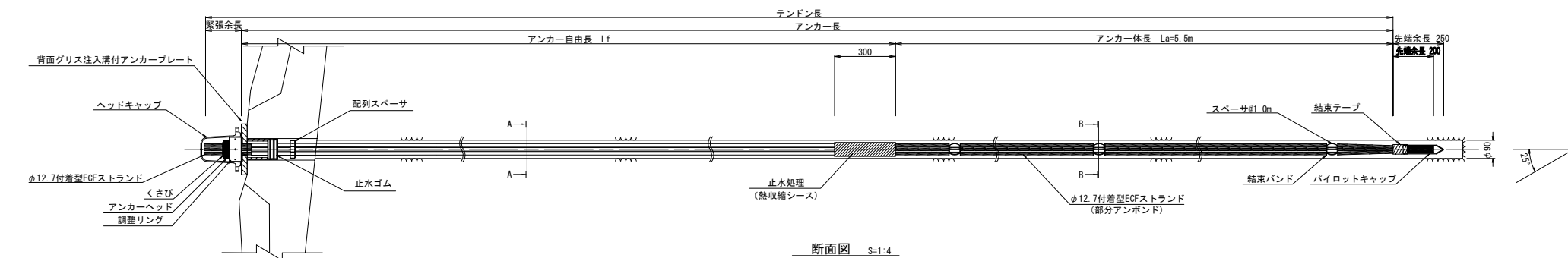
道 交 通 事 業 ト マ ム イ シ ャ			
図面の種類	グラウンドアンカー工詳細図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	39 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工務事務所		

# グラウンドアンカー工詳細図 (3)

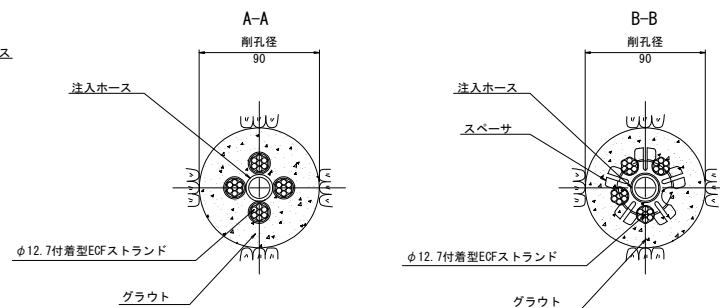
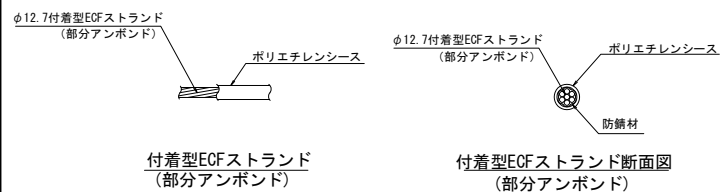
S=1:2

グラウンドアンカー工用 (φ12.7mm PC鋼より線×4本タイプ)

断面図 S=1:20

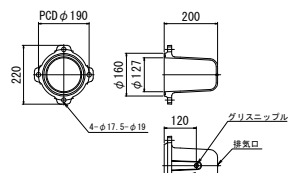


断面図 S=1:4

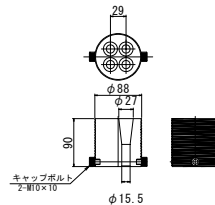


## 部品図

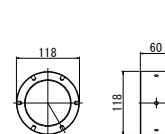
### ヘッドキャップ (RN型用) S=1:20



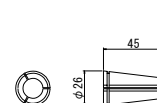
### アンカーヘッド (RN型用) S=1:10



### 調整リング S=1:10



### くさび S=1:4

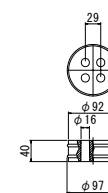


### 注入ホース S=1:10

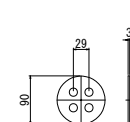


### 止水具スペーサ

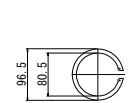
#### 止水ゴム S=1:10



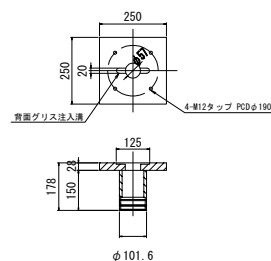
#### 押え板 S=1:10



#### ストッパ S=1:10



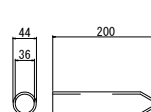
### 背面グリリス注入溝付アンカープレート (RN型用) S=1:20



### 配列スペーサ S=1:10



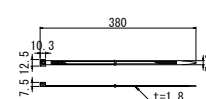
### パイロットキャップ S=1:10



### スペーサ S=1:10



### 結束バンド S=1:10



法面勾配	調整角度	
	鉛直方向	水平方向
1:0.6	6.0°	0.0°

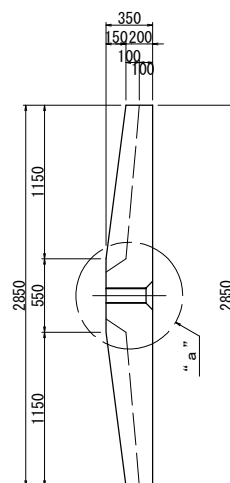
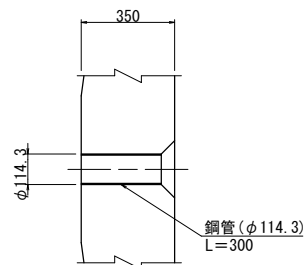
道 交 自 動 車 道 ト マ ム ! C 工 事			
図面の種類	グラウンドアンカー工詳細図 (3)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	北海道支社 帯広工務事務所		

### 受圧板詳細図 (1)

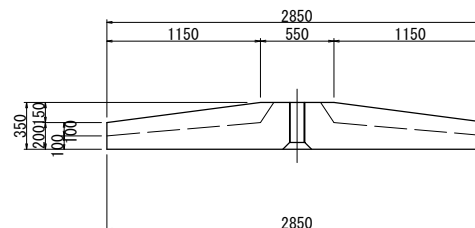
S=1 : 40

グラウトアンカー工A用（受圧板角度 上向き 11.0°，15.0°，水平角0.0°）

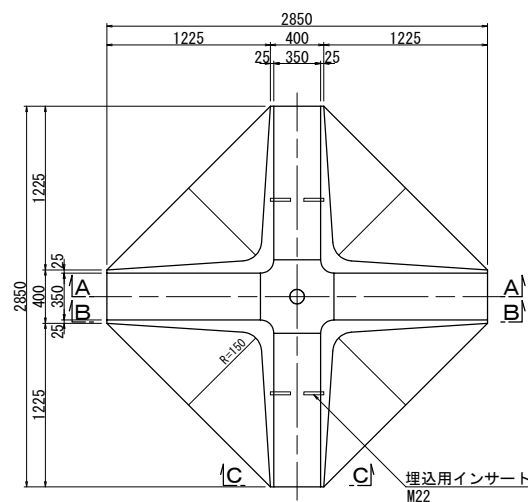
“ a ” 部詳細図 S=1:20



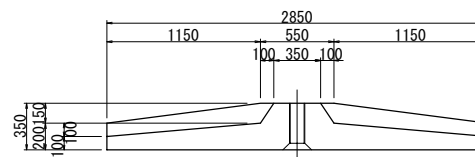
A-A 断面图



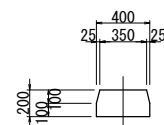
平面図



B-B 断面图



C—C 断面图



### グラウト・アンカー工A用 受圧板選定条件

許容アンカー耐力  $T_d \geq 378.8 \text{ kN}$

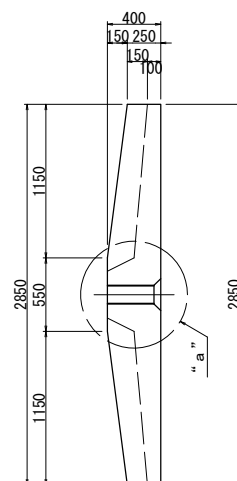
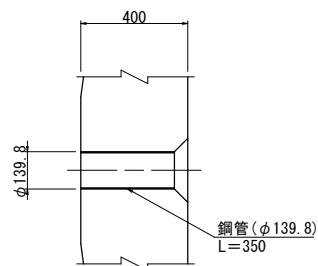
許容地盤反力度  $q \leq 100 \text{ kN/m}^2$

法面勾配	調整角度	
	鉛直方向	水平方向
1:0.6	11.0°	0.0°
1:0.7	15.0°	0.0°

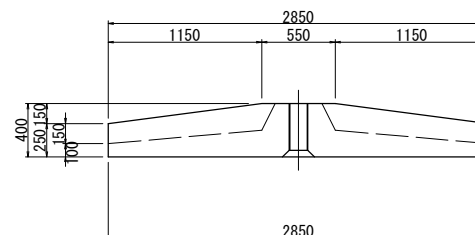
道 東 自 動 車 道 ト マ ム ! C 工 事			
図面の種類	受任板詳細図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	41 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

グラウト・アンカー工用（受圧板角度 上向き  $11.0^{\circ}$ ，水平角  $0.0^{\circ}$ ）

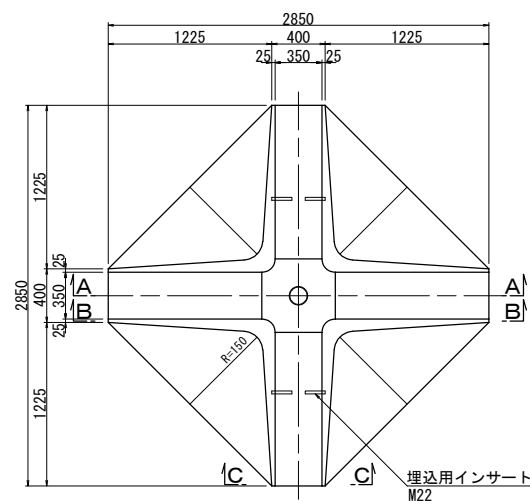
“ a ” 部詳細図 S=1:20



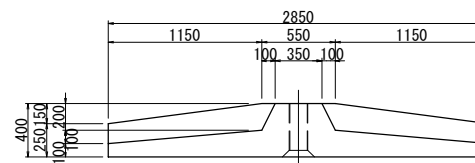
A-A 断面图



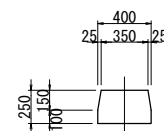
平面図



B-B 断面图



C—C 断面图



ケラウント・アンカー工B用 受圧板選定条件

許容アンカー耐力  $T_d \geq 501.4 \text{ kN}$

許容地盤反力度  $q \leq 100 \text{ kN/m}^2$

法面勾配	調整角度	
	鉛直方向	水平方向
1:0.6	11.0°	0.0°

道東自動車道 トマム！Ｃ工事			
図面の種類	受任板詳細図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	42 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	道東高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

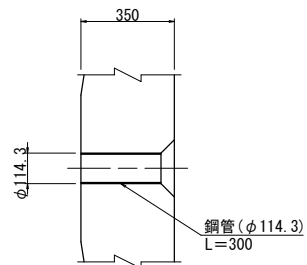


# 受圧板詳細図 (3)

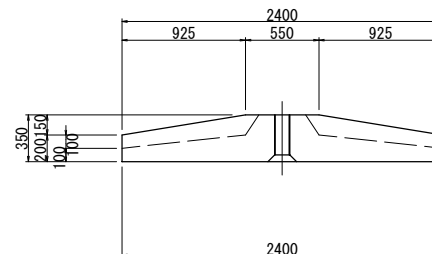
S=1:40

ゲラウンドアンカー工用 (受圧板角度 上向き 6.0°, 水平角0.0°)

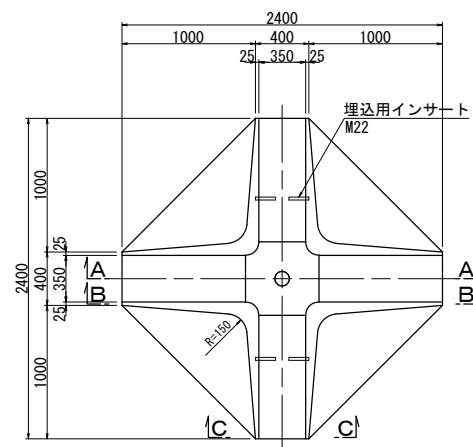
“a” 部詳細図 S=1:20



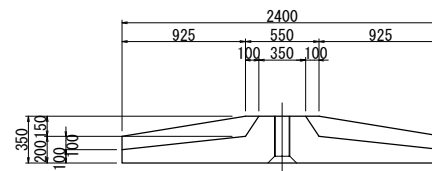
A-A 断面図



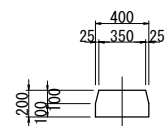
平面図



B-B 断面図



C-C 断面図



ゲラウンドアンカー工用 受圧板選定条件

許容アンカー耐力 $T_d \geq 366.8 \text{ kN}$
許容地盤反力度 $q \leq 100 \text{ kN/m}^2$

法面勾配	調整角度	
	鉛直方向	水平方向
1:0.6	6.0°	0.0°

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	受圧板詳細図 (3)		
縮尺	図示	図面番号	43 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

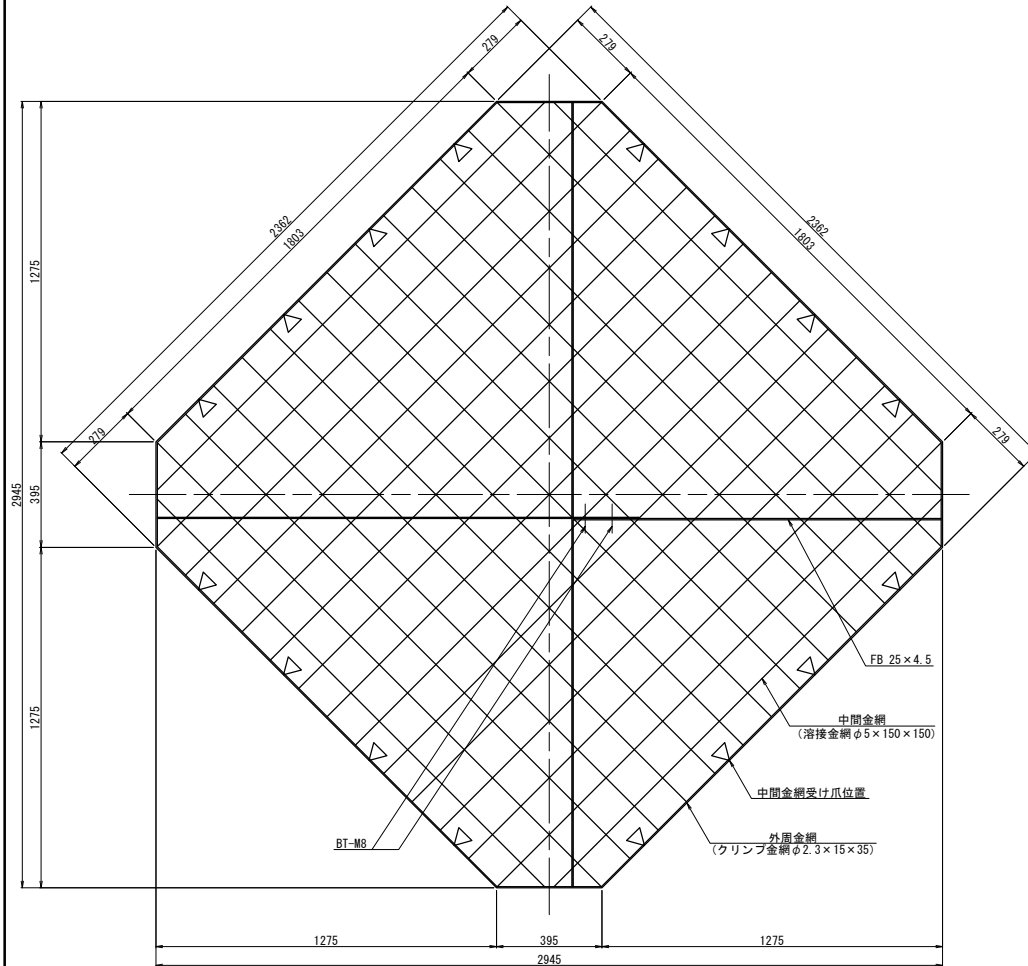
## 不陸調整工詳細図 (1)

S=1:20

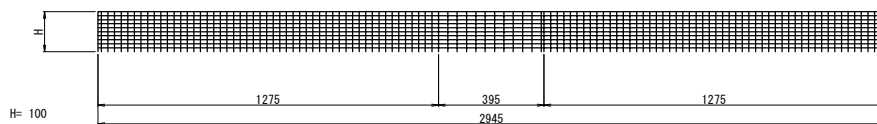
44 / 53

## ゲラウンドアンカー工A, B用

組立平面図



組立正面図

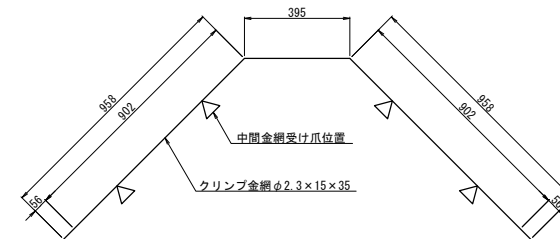


ざぶとんわく材料表

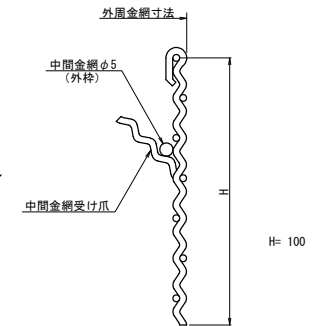
(1基当たり)

項目	規格	単位	数量	摘要
外周金網	φ2.3×15×35 L=2310 H=100	組	4	クリンプ金網
中間金網	φ5.0×150×150 L=2352 B=1176	組	2	溶接金網
平鋼	FB 25×4.5	式	1	BT-M8付

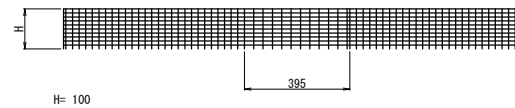
外周金網平面図



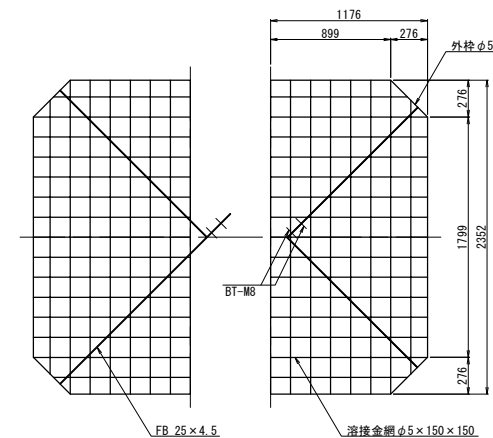
外周金網断面図 S=1:2



外周金網正面図



中間金網平面図 S=1:40

吹付面積: 5.42 m<sup>2</sup>

注: 金網の網目は図面と製品とで異なる場合があります。  
注: 寸法は外寸法を示します。

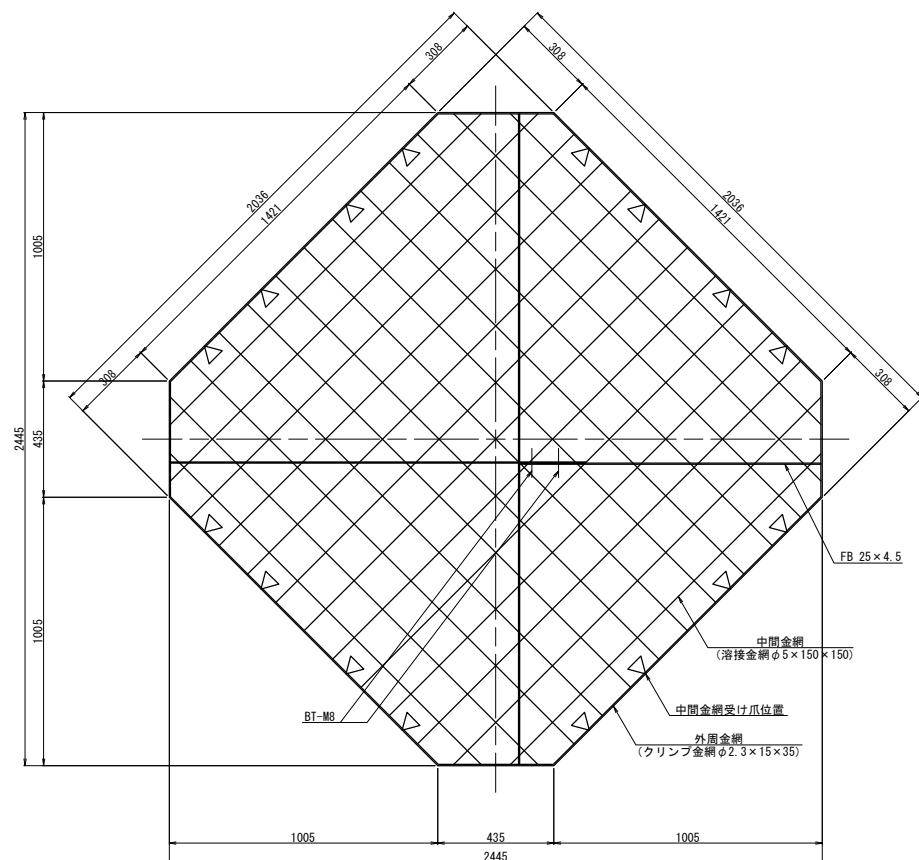
道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	不陸調整工詳細図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	44 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

不陸調整工詳細図 (2)

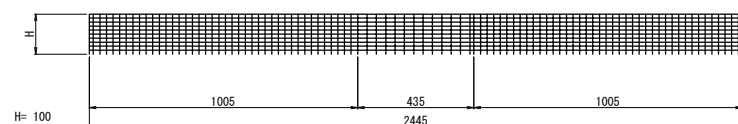
S=1 : 20

グ ラウンド`アンカー工C用

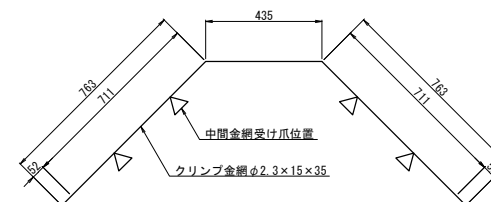
組立平面図



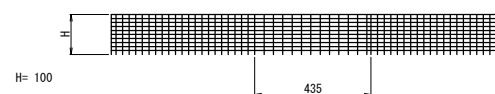
組立正面図



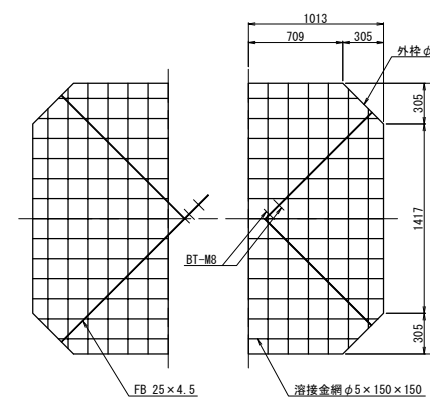
### 外周金網平面図



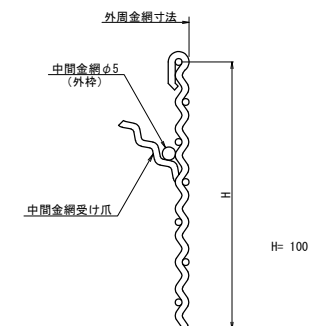
外周金網正面図



中間金網平面図 S=1:40



外周金網断面図 S=1:2

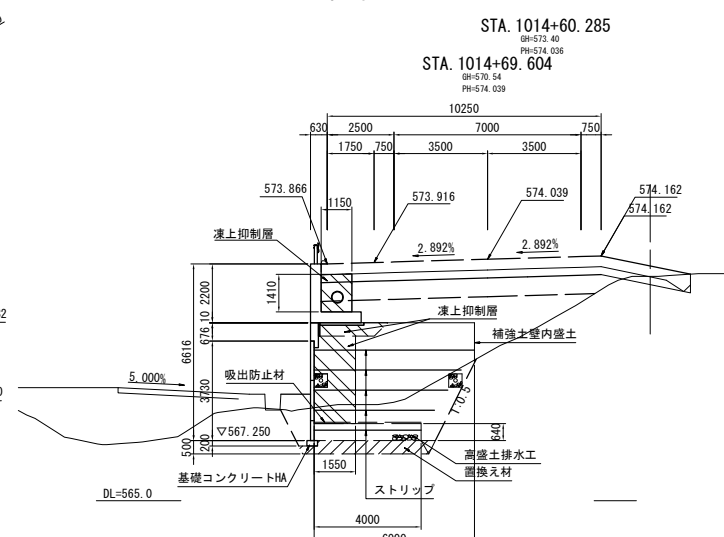


吹付面積: 3.96 m<sup>2</sup>

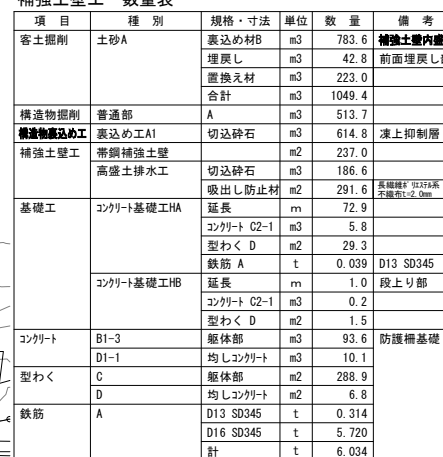
注：金網の網目は図面と製品とで異なる場合があります。  
注：寸法は外-外寸法を示します。

道東自動車道 トマム！Ｃ工事			
図面の種類	不陸調整工詳細図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	45 / 5
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

標準断面図 S=1:200



平面图 S=1:400

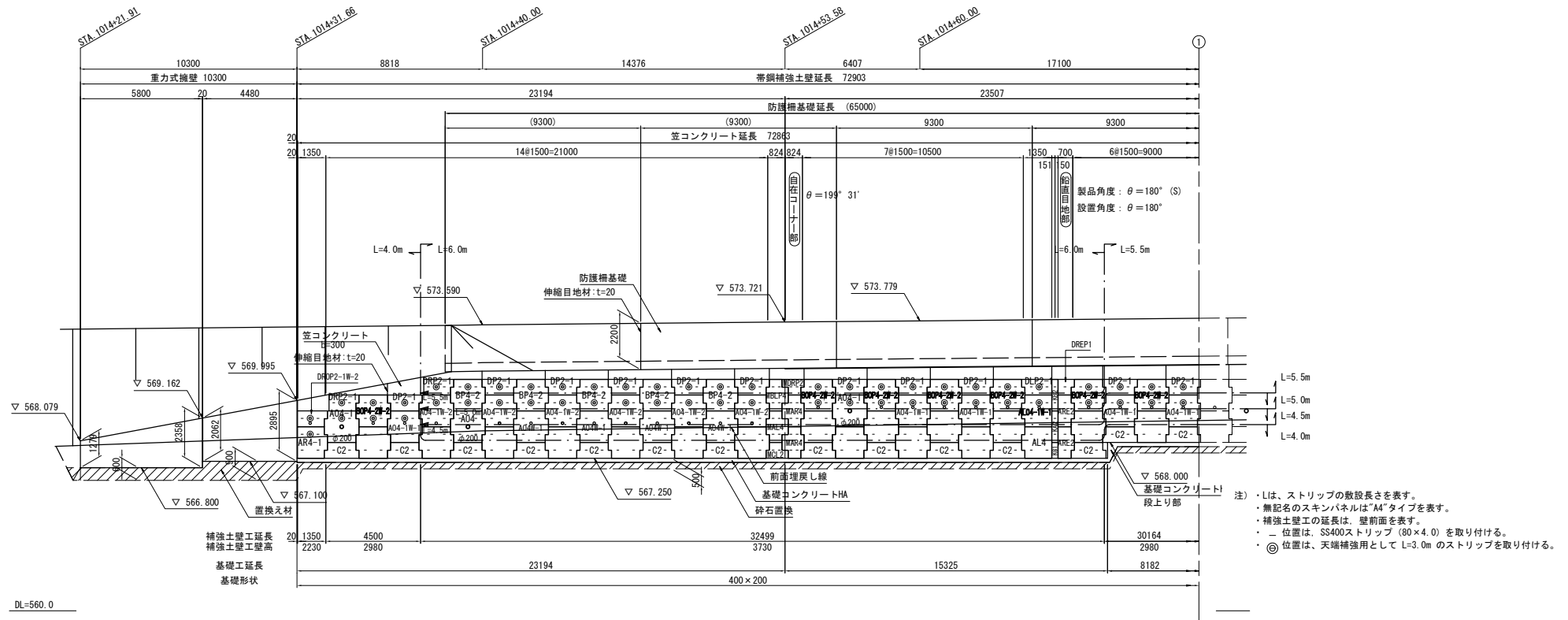


設 計 条 件		
補強土壁の高さ		$H_{max} = 3.730 \text{ m}$
盛土の土質		$\phi = 35^\circ, \gamma = 20 \text{ kN/m}^3$ 円弧すべり検討時 $C_{es} = 0 \text{ kN/m}$
盛土材とストリップの間の摩擦係数		$f' = 1 \sim 0.727$
設 計 水 平 震 度 (Ⅱ種地震-B地域)		$kH = 0.17$ (内的安定検討) $kH = 0.12$ (外的安定検討) $kH = 0.17$ (円弧すべり)
安全率	ストリップの引き抜きに対して	常 時 2.00 震 時 1.20
	盛土のすべり破壊に対して	2.15 1.00
	滑動に対する安全率	1.50 1.20
	転倒に対する安全条件	B/3以下 B/3以下
	支持力に対する安全率	3.00 2.00
	補強土(テールレス)壁工法設計基準マニュアル(平成26年8月)より	
ストリップの引張許容応力度	SM400	$\sigma_{ta} = 140 \text{ N/mm}^2$
ボルトのせん断許容応力度		$\tau_k = 200 \text{ N/mm}^2$
コンクリートスクリューの設計基準強度		$f'_{ck} = 35 \text{ N/mm}^2$ 以上

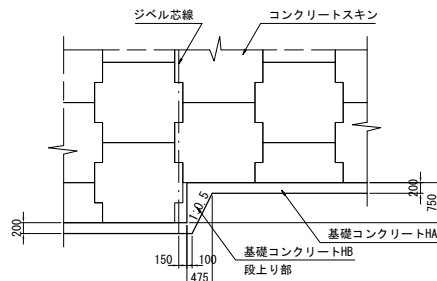
## STA1014付近 補強土壁工構造図(1)

STA. 1014+21.91~STA. 1015+4.00

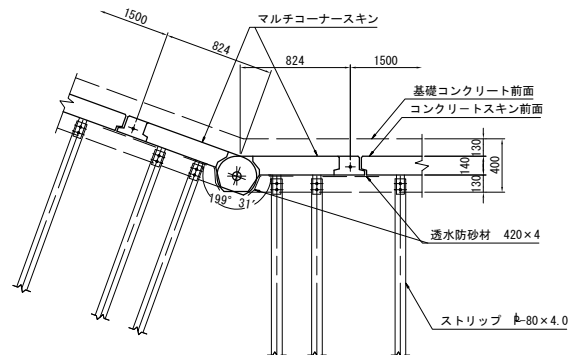
背面展開図 S=1:200



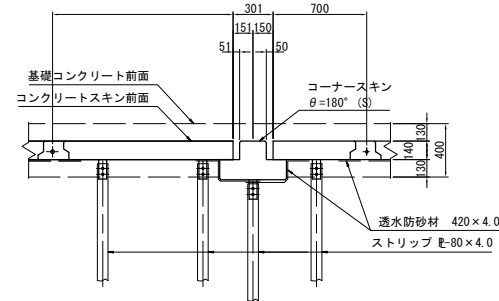
段上り部標準図 S=1:100



コーナ部詳細図 S=1:40

(設置角度  $\theta = 199^\circ 31'$ )

鉛直目地部詳細図 S=1:40

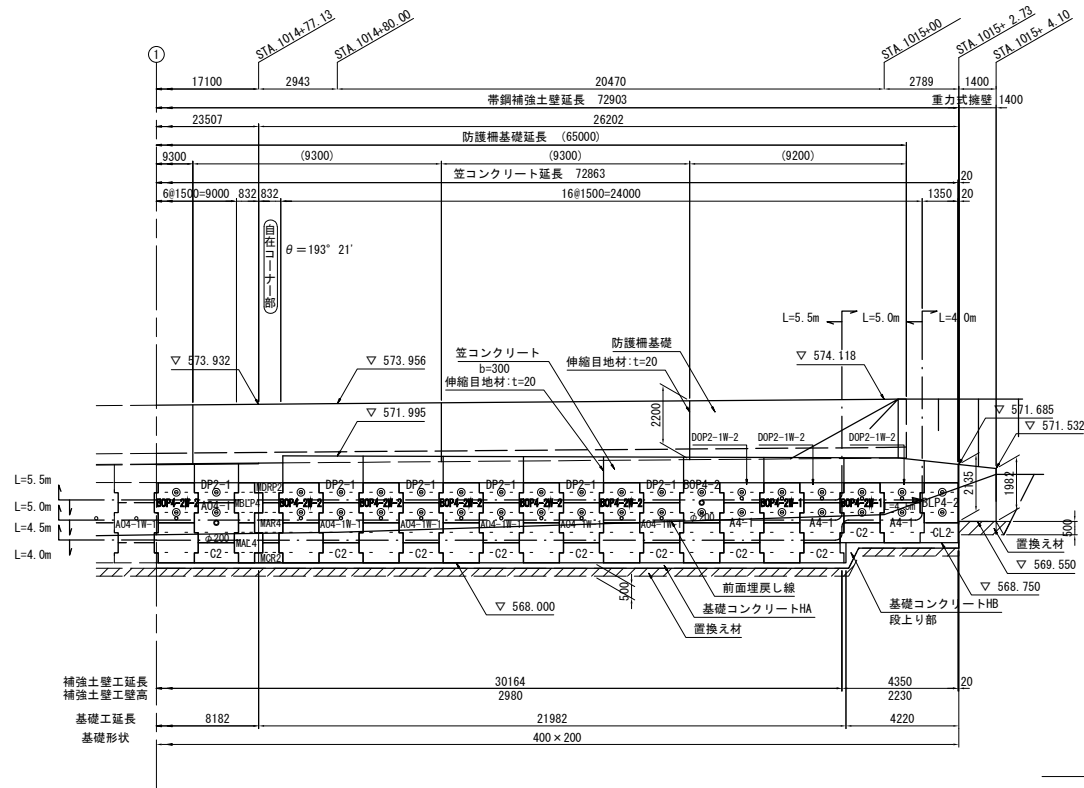


道 京 自 動 車 道 ト マ ム イ C 工 事			
図面の種類	STA1014付近 補強土壁工構造図(1)	図面番号	47 / 53
縮 尺	図示	設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

## STA1014付近 補強土壁工構造図(2)

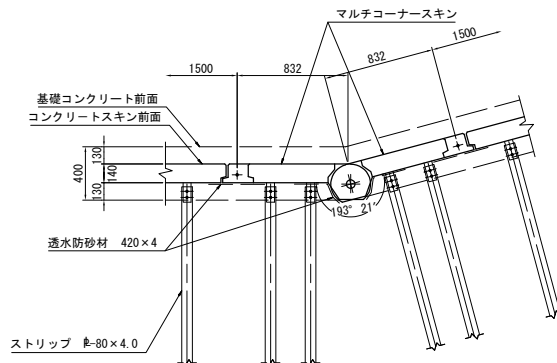
STA. 1014+21.91~STA. 1015+4.00

背面展開図 S=1:200

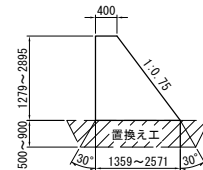


- 注) ・Lは、ストリップの敷設長さを表す。  
・無記名のスキンパネルは“A4”タイプを表す。  
・補強土壁工の延長は、壁前面を表す。  
・— 位置は、SS400ストリップ (80×4.0) を取り付ける。  
・⊙ 位置は、天端補強用として L=3.0m のストリップを取り付ける。

コーナー部詳細図 S=1:40

(設置角度  $\theta = 193^\circ 21'$ )

重力式擁壁詳細図 S=1:100



帯鋼補強土壁 材料表

(薄型: t=140 ショクノネティフ)

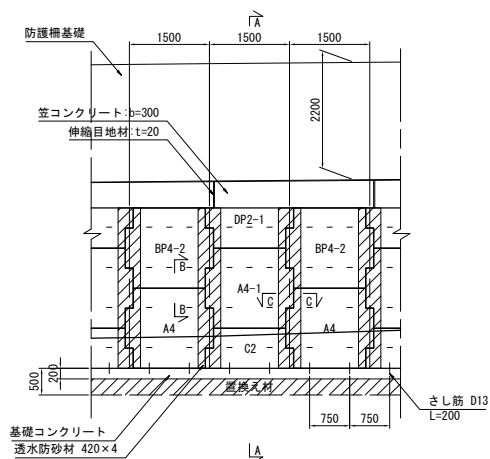
名 称	記 号	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	備 考
コンクリート	A 4	1.50 × 1.50 = 2.2500	m <sup>2</sup>	枚	24
	AL 4	1.35 × 1.50 = 2.0250	〃	〃	1
	A 4-1	1.50 × 1.50 = 2.2500	〃	〃	3
	AR 4-1	1.35 × 1.50 = 2.0250	〃	〃	1
	BP 4-2	1.50 × 1.48 = 2.2200	〃	〃	5 さし筋 b=300
	BLP 4-2	1.35 × 1.48 = 1.9980	〃	〃	1 さし筋 b=300
	C 2	1.50 × 0.75 = 1.1250	〃	〃	23
	CL 2	1.35 × 0.75 = 1.0125	〃	〃	1
	DP 2-1	1.50 × 0.73 = 1.0950	〃	〃	17 さし筋 b=300
	DLP 2-1	1.35 × 0.73 = 0.9855	〃	〃	1 さし筋 b=300
	DRP 2-1	1.35 × 0.73 = 0.9855	〃	〃	2 さし筋 b=300
	DP2-1W-2	1.50 × 0.73 = 1.0950	〃	〃	17 さし筋 b=300
孔あき	AO 4	1.50 × 1.50 = 2.2500	m <sup>2</sup>	枚	1 $\phi$ 200
	AO 4-1	1.50 × 1.50 = 2.2500	〃	〃	3 $\phi$ 200
	AO 4 W-1	1.50 × 1.50 = 2.2500	〃	〃	4 $\phi$ 60
	AO 4-1 W-1	1.50 × 1.50 = 2.2500	〃	〃	10 $\phi$ 60
	ALO 4-1 W-1	1.35 × 1.50 = 2.0250	〃	〃	1 $\phi$ 60
	AO 4-1 W-2	1.50 × 1.50 = 2.2500	〃	〃	6 $\phi$ 60
	BOP 4-2	1.50 × 1.48 = 2.2200	〃	〃	1 $\phi$ 200 さし筋 b=300
	BOP 4-2 W-1	1.50 × 1.48 = 2.2200	〃	〃	2 $\phi$ 60 さし筋 b=300
	BOP 4-2 W-2	1.50 × 1.48 = 2.2200	〃	〃	13 $\phi$ 60 さし筋 b=300
	DOP 2-1 W-2	1.50 × 0.73 = 1.0950	〃	〃	3 $\phi$ 60 さし筋 b=300
	DROP 2-1 W-2	1.35 × 0.73 = 0.9855	〃	〃	1 $\phi$ 60 さし筋 b=300
	DP2-1W-2	1.50 × 0.73 = 1.0950	〃	〃	17 さし筋 b=300
異形	ARE 2	0.70 × 1.50 = 1.0500	m <sup>2</sup>	枚	2
	DREP 1	0.70 × 0.73 = 0.5110	〃	〃	1 さし筋 b=300
マルチ	MAL 4	0.824 × 1.50 = 1.2360	m <sup>2</sup>	枚	1 $\theta = 193^\circ 31'$
	MAR 4	0.824 × 1.50 = 1.2360	〃	〃	2 $\theta = 199^\circ 31'$
	MBLP 4	0.824 × 1.48 = 1.2195	〃	〃	1 $\theta = 199^\circ 31'$
	MCL 2	0.824 × 0.75 = 0.6180	〃	〃	1 $\theta = 199^\circ 31'$
	MDRP 2	0.824 × 0.73 = 0.6015	〃	〃	1 $\theta = 199^\circ 31'$
	MAL 4	0.832 × 1.50 = 1.2480	〃	〃	1 $\theta = 193^\circ 21'$
	MAR 4	0.832 × 1.50 = 1.2480	〃	〃	1 $\theta = 193^\circ 21'$
	MBLP 4	0.832 × 1.48 = 1.2314	〃	〃	1 $\theta = 193^\circ 21'$
	MCR 2	0.832 × 0.75 = 0.6240	〃	〃	1 $\theta = 193^\circ 21'$
	MDRP 2	0.832 × 0.73 = 0.6074	〃	〃	1 $\theta = 193^\circ 21'$
コーナ	KA 2	0.301 × 1.50 = 0.4515	m <sup>2</sup>	枚	1 $\theta = 180^\circ$ S
	KB 2	0.301 × 1.48 = 0.4455	〃	〃	1 $\theta = 180^\circ$ S
	KC 1	0.301 × 0.75 = 0.2258	〃	〃	1 $\theta = 180^\circ$ S
ストリッ	PL (SS400)	80 × 4.0 × 6,000	本	46	
		〃 5,500	〃	88	
		〃 5,000	〃	92	
		〃 4,500	〃	92	
		〃 4,000	〃	128	
		〃 3,000	〃	92	天端補強用
	総延長		m	2,422.0	
鉄板ナット	M12 × 40		個	1,076	
水平目地材	85 × 20 × 600		枚	174	
両端部目地材	t=20mm 瀝青繊維質板		m <sup>2</sup>	1.0	
透水防砂材	420 × 4		m	178.9	
流出防止材	$\phi$ 60用		枚	40	
公称壁面積				237.01 m <sup>2</sup>	
壁 高				3.730 m	
施工延長				72.903 m	
笠コンクリ	コンクリ	B1-3	m <sup>3</sup>	18.2	
	型わく	C	m <sup>2</sup>	119.9	
	鉄 筋	A D13 SD345	t	1.170	
	目地材	t=20mm 瀝青繊維質板	m <sup>2</sup>	6.7	
	ゴムフ	t=10mm	m <sup>2</sup>	19.5	
高盛土排水工	発砲ス	b=50mm	m <sup>3</sup>	1.6	
	基礎排水層	切込砕石	m <sup>3</sup>	186.6	
		吸出し防止材	m <sup>2</sup>	291.6	

道 京 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	STA1014付近 補強土壁工構造図(2)	図面番号	48 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社
事務所名	帯広工務事務所		

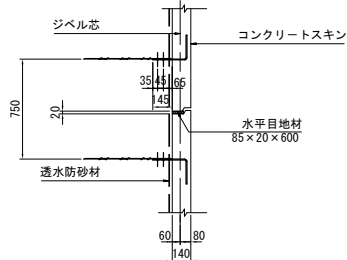
## STA1014付近 補強土壁工詳細図

STA. 1014+21.91~STA. 1015+4.00

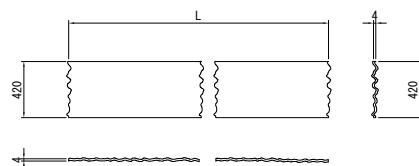
スキン組合せ一般図 S=1:100



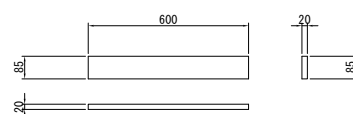
B-B断面图 S=1:40



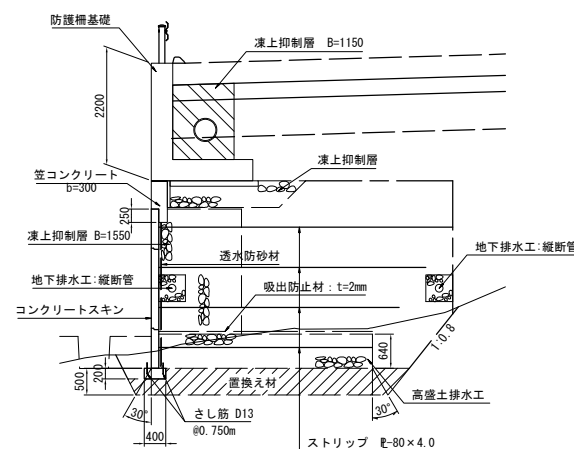
透水防砂材 S=1:40



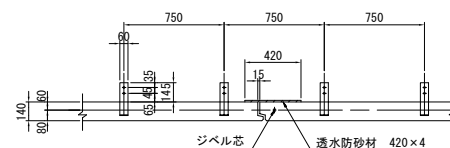
水平目地材



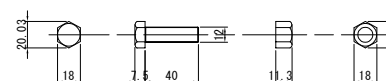
A-A断面图 S=1:100



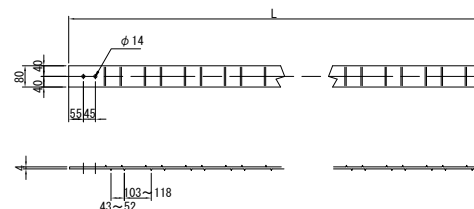
C-C断面图 S=1:40



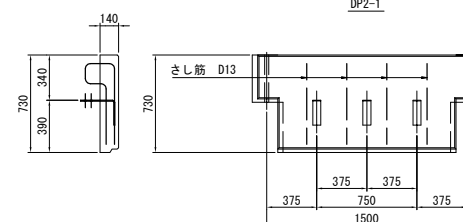
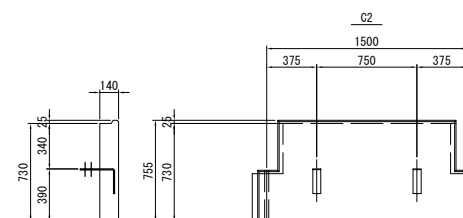
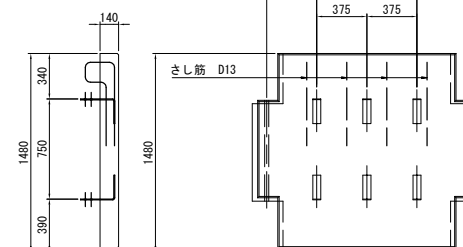
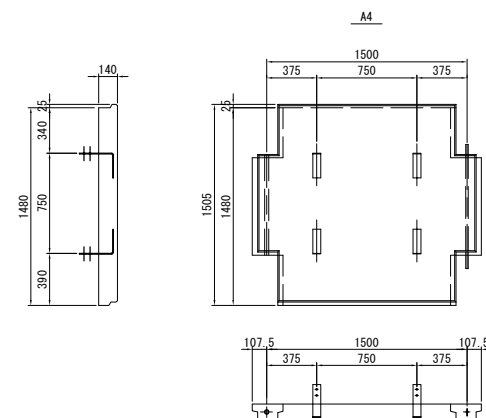
ボルト・ナット (M12×40) S=1:4



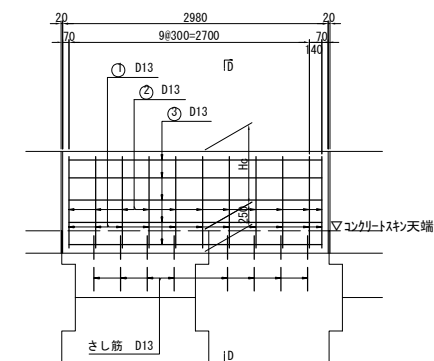
リブ付きストリップ S=1:20



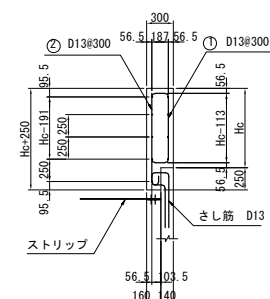
標準スキンタイプ S=1:40



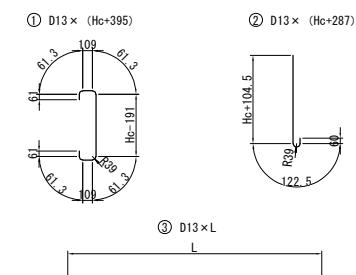
笠コンクリート配筋図（背面） S=1:60



D-D断面图



鉄筋加工図

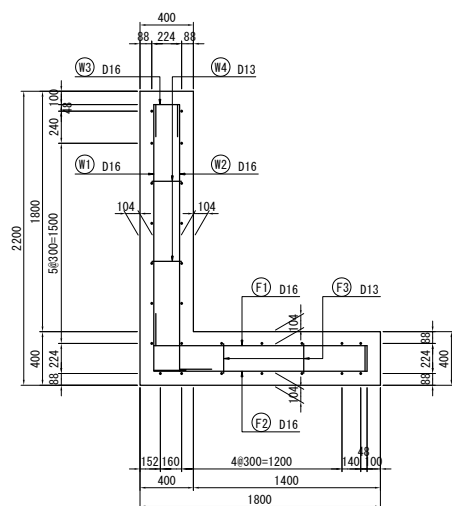


注) 鉄筋寸法は、中心位置を表す。

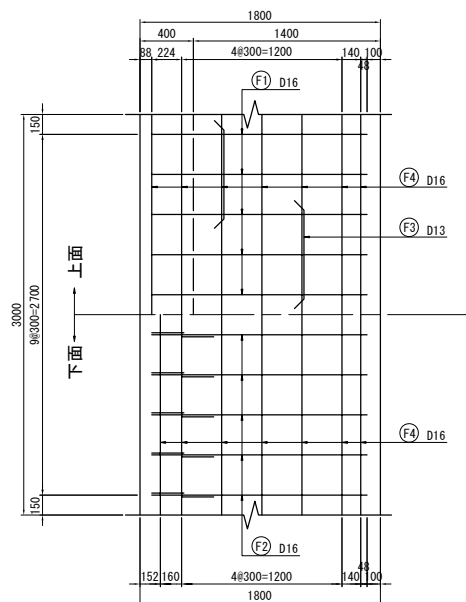
道 東 自 動 車 道 ト マ ム I C 工 事			
図面の種類	STA1014付近 補強土壁工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	49 / 5
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 専任工事事務所		

STA1014付近 補強土壁工防護柵基礎工詳細図

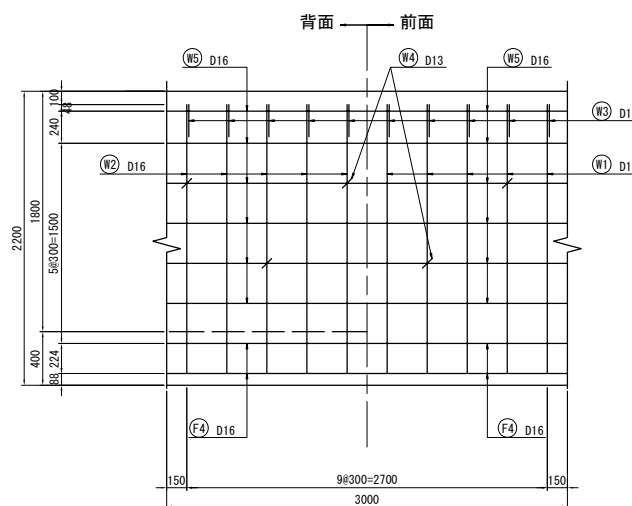
断面图 S=1:20



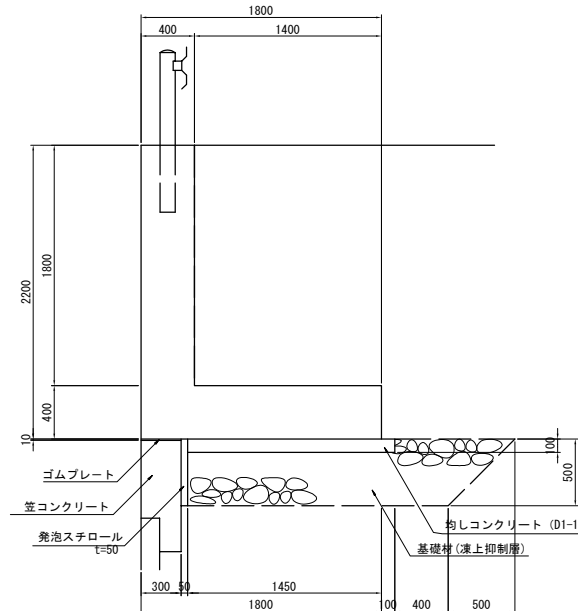
底 版 S=1:20



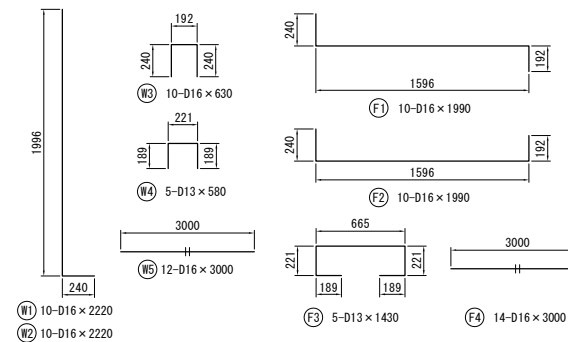
豎壁 S=1:20



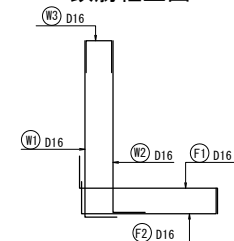
防護柵基礎断面図 S=1:20



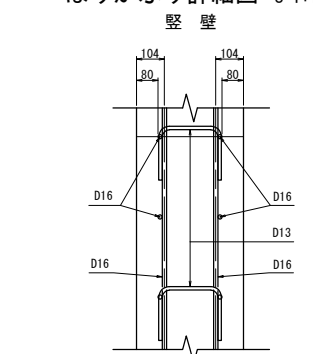
鉄筋加工図 S=1:20



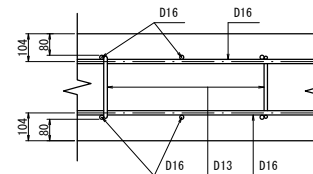
鉄筋組立図



はりかぶり詳細図 S=1:10



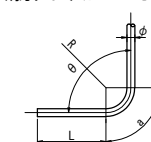
底 版



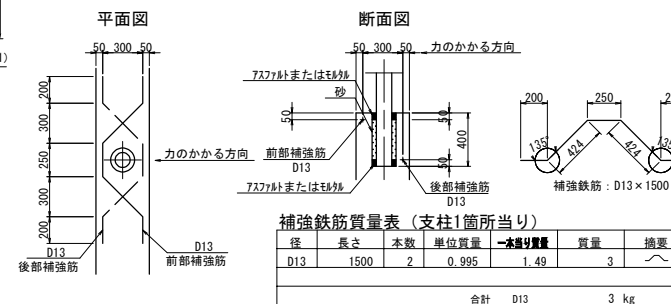
### 鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
W 1	D 16	2220	10	1.56	3.46	35	┘
W 2	D 16	2220	10	1.56	3.46	35	┘
W 3	D 16	630	10	1.56	0.98	10	┘
W 4	D 13	580	5	0.995	0.577	3	┘
W 5	D 16	3000	12	1.56	4.68	56	—
F 1	D 16	1990	10	1.56	3.10	31	┘
F 2	D 16	1990	10	1.56	3.10	31	┘
F 3	D 13	1430	5	0.995	1.42	7	┘
F 4	D 16	3000	14	1.56	4.68	66	—
						274	kg
						D13	10 kg
						D16	264 kg
L=1.0m当り質量					D13	3.3	kg
					D16	88.0	kg

### 鉄筋曲げ加工寸法表



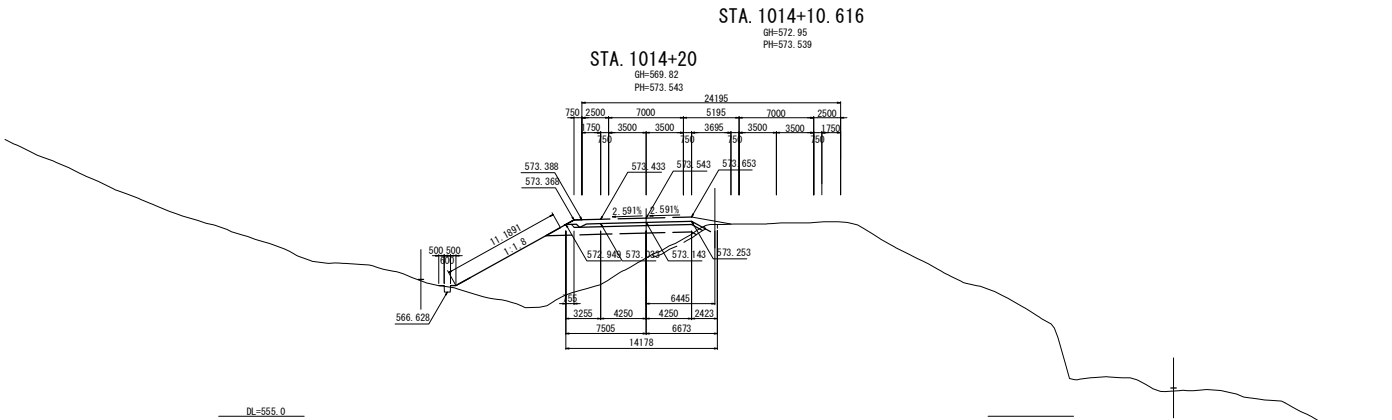
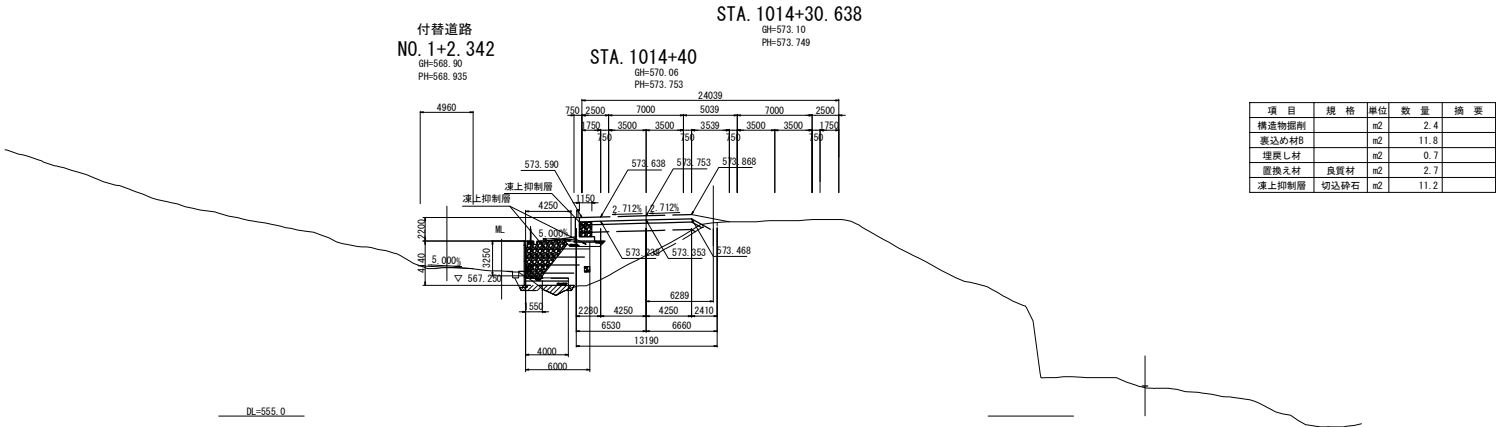
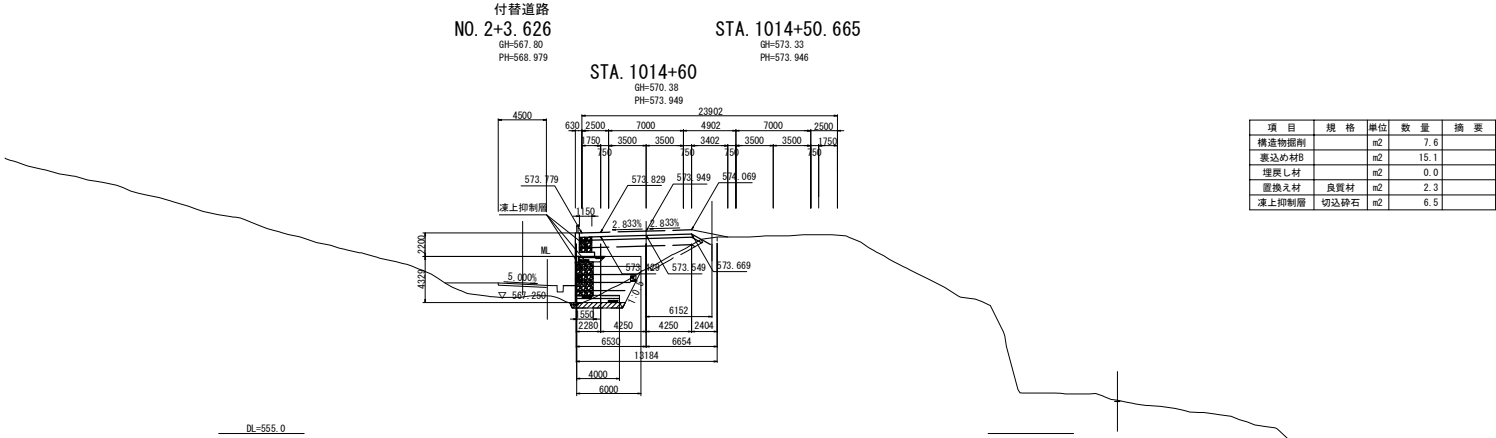
ガードレール用補強鉄筋詳細図 S=1:20



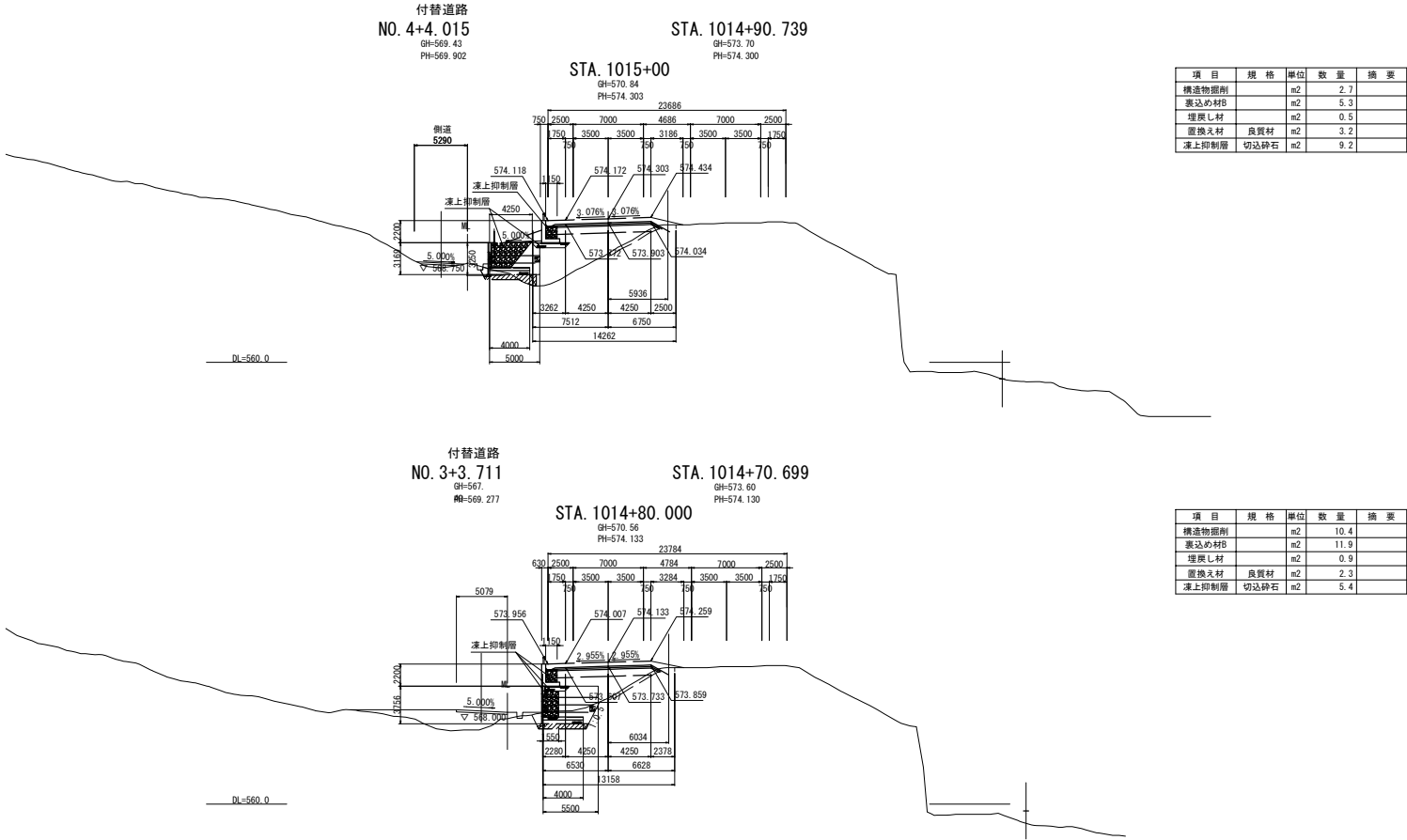
道 東 自 動 車 道 ト マ ム ! C 工 事			
図面の種類	STA1014付注 特殊土壁工助張基礎工詳細		
縮 尺	1:500	図面番号	50 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



STA1014付近 補強土壁工横断面図 (1) S=1:500

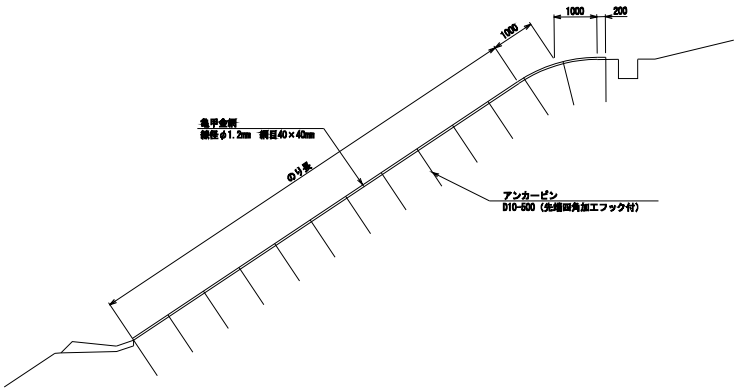


道 交 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	STA1014付近 補強土壁工横断面図 (1)		
縮 尺	1:500	図面番号	51 / 53
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

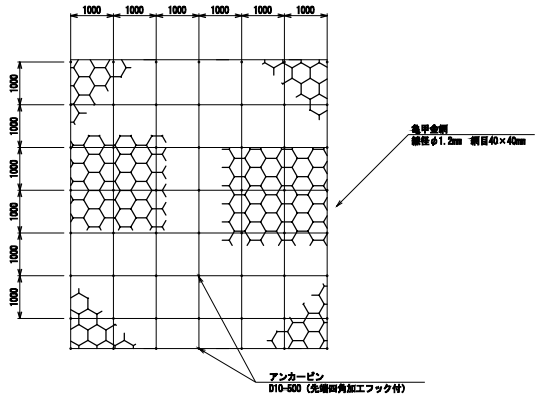


のり面保護網工 A 詳細図

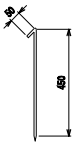
のり面保護網工 A 標準断面図 S=1/125



のり面保護網工 A 基本配置図 (展開図) S=1/125



アンカーピン D10-500 S=1/50



のり面保護網工 A 設置工 材料表 (施工面積 A=100m2当たり)				
項 目	規格及び寸法	単位	数 量	備 考
魚甲金網	φ1.2×40×40	m2	100以上	網目40mm
アンカーピン	D10-500	本	200以上	SD296A

道 東 自 動 車 道 ト マ ム イ シ 工 事			
図面の種類	のり面保護網工 A 詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	53 / 53
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		